

2022 年度 文部科学省創造的教育方法実践プログラム成果報告
(2D メタバースを活用したバーチャルキャンパス)

学校法人 益田永島学園
明誠高等学校

目的と目標

目的

本学で 2019 年度から取り組んでいる『しちやるラボ』を発展させていくことが最大の目的である。『しちやるラボ』とは、生徒が主体となり、地域の社会人や活躍する卒業生との交流から地元益田市の家庭料理を発掘、料理本制作を行うプロジェクトである。本事業へ継続させることにより、料理の側面のみならず、過疎地におけるまちづくり、魅力ある地域づくりに寄与できるものと考え。そして、本学の位置する益田市は第一次産業を中心に豊かな自然を利用した産業、石見神楽や石州和紙といった伝統工芸、日本遺産に登録された歴史的遺構など多彩な魅力にあふれている。こうした魅力ある地域を、次代を担う生徒たちの手によって後世に伝え、広め、昇華させていくことを最大の目的としている。また、社会の目まぐるしい変化に対応するためにネットリテラシーやメタバースの仕組みを授業内で理解し、マネジメント学習を併用することで地域から都市部、海外への発信などを通して次世代を生き抜く力も育んでいきたいと考えている。

本事業に取り組む当該学年の実態・・・本事業の当該学年として本校普通科 1 年生 106 名を抽出した。入学してからの 1 年生の実態として、授業、特別活動、その他学校の教育活動全般にわたり、受動的な態度の生徒が多いことが特筆される。社会的に考えた場合の行動についても幼い面が多く見られ、他人に依存している姿が度々みられる。本事業を通して、生徒がより多くの人と関わり、体験や経験の中で自ら主体的に行動できる力を養っていきたいと考える。このような生徒の変化を報告できればと考えている。

目標

目 標	目 標 設 定 の 理 由
生徒の自尊感情の向上 能動的な学習姿勢の構築	本事業に取り組んでいる指標として、自尊感情の向上、能動的な学習姿勢の構築を目指す。地域社会との連動により、さまざまな課題や問題を解決することで、能動的な学習姿勢の構築と自尊感情は向上すると考えているためである。
新製品の開発	多様な資源とつながることで、地元産業に貢献しうる線製品を開発する。
プラットフォームの開発	地域社会と連動するために仮想空間上にプラットフォームを設置する。このことにより、中山間地域特有の問題である距離を縮め、簡易にアクセスできる状況を創出する。
広く周知する	学校と地域社会との連動によって生まれた価値や課題を広く周知することにより、多くの地域で役立ててもらおう。
広く利用してもらおう	プラットフォームを本学のみが利用するのではなく、離島や中山間地域において必要とする子どもたちすべてに展開する。

※目標を設定するにあたり、地域社会と連動するうえで、生徒のみでなく地域に対しても考えられるものであることを前提とした

生徒の自尊感情の向上、能動的学習姿勢の構築(初年度～)

本事業に取り組んでいる指標として、自尊感情の向上と能動的な学習姿勢の構築を目指す。地域社会や専門講師との連動により、様々な課題や問題の解決を目指す中で能動的な学習姿勢が構築され自尊感情は向上すると考えられる。

以下は授業前の生徒のアンケート結果と授業後の成果のアンケート結果を国立大学法人弘前大学教育学部准教授 桐村豪文氏に依頼し、分析した結果である。

調査結果資料の最後にも記しているが、結果から、生徒の主体的に行動する姿勢や考え方、また他者理解といった側面の数値が授業前に比べて伸びていることが分かる。

国立大学法人 弘前大学 教育学部准教授 桐村豪文氏による分析
調査結果報告書 (2022 年度)

目次

目次

1. アンケート調査の質問報告	2
2. 単純集計.....	3
3. 対応のある事前・事後の比較.....	13
4. 主成分得点の事前・事後の比較	34

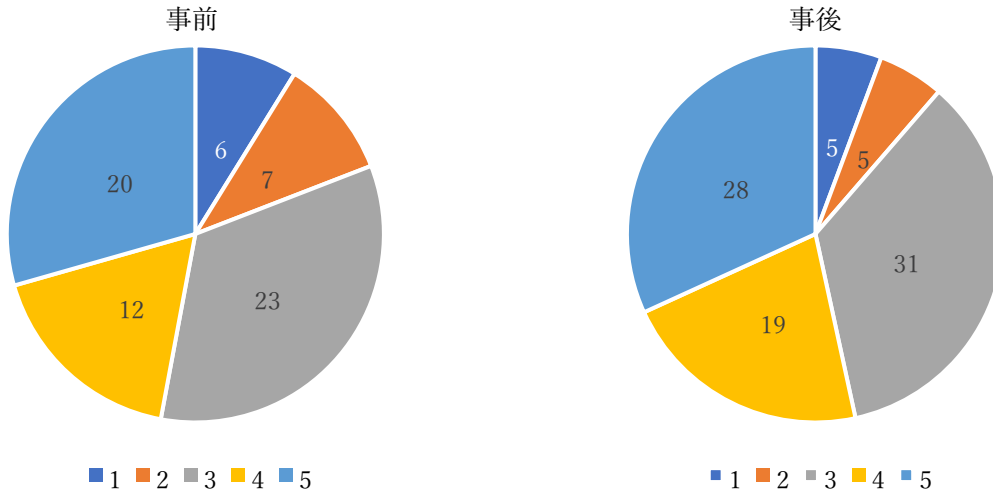
1. アンケート調査の質問項目

- (1) 面倒くさいなと思う時こそ、自分の力が試されると思う
- (2) 世の中は弱肉強食だと思う
- (3) 人にプレゼントをあげるのが好き
- (4) 食事をするとき、野菜から食べる
- (5) 大ヒット中のアニメより、マニアックなアニメをみる
- (6) 外出する前に天気予報をチェックする
- (7) 遊園地では、必ず絶叫マシンに乗る
- (8) くじ引きをよく買う
- (9) 外食をするときは、真ん中の席に座ることが多い
- (10) 自らの弱みを理解し、その対処方法がわかっている
- (11) 尊敬する偉人や知人からどんなことを学んだか、まとめることができる
- (12) 問題解決の方法を明確にし、計画的に取り組むことができる
- (13) 新しいことにチャレンジするとき、まずやってみるタイプだ
- (14) 前もって決めていた予定が狂うことにストレスを感じない
- (15) 気になるニュースを国内・国外1つずつ選び、考えを話すことができる
- (16) SNS を使いこなし、日頃から自分の考えなどを発信している
- (17) 周囲から強く反対されても、納得がいかなければまずは反論する
- (18) 他人の良いところに目が行きがちで、本人に伝えたいタイプだ
- (19) 失敗した際はあまり落ち込まない方だ
- (20) 問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える

1. 単純集計 各質問項目（事前・事後）の単純集計を示す。

(1) 面倒くさいと思う時こそ、自分の力が試されると思う

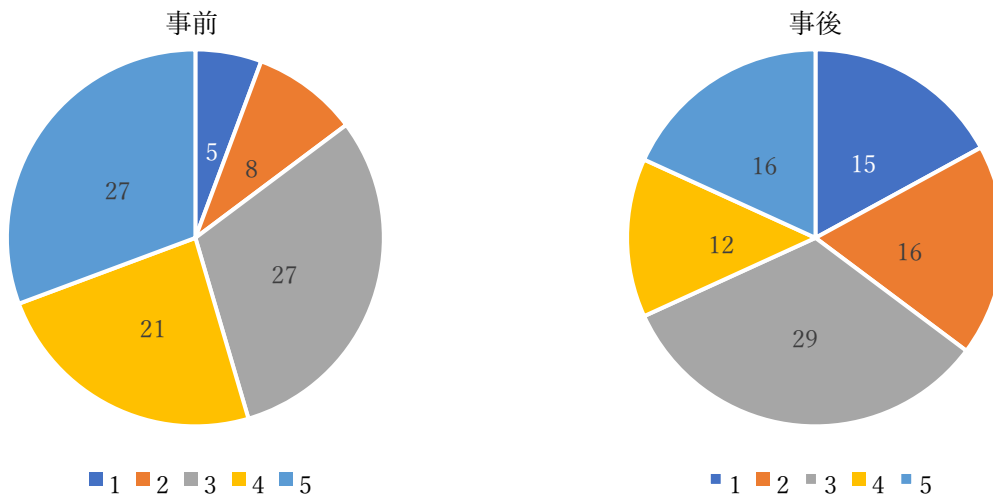
「4」と「5」の合計が、事前では47.1%、事後では53.4%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では19.1%、事後では11.4%で、減少している。



	1	2	3	4	5
事前	8.8%	10.3%	33.8%	17.6%	29.4%
事後	5.7%	5.7%	35.2%	21.6%	31.8%

(2) 世の中は弱肉強食だと思う

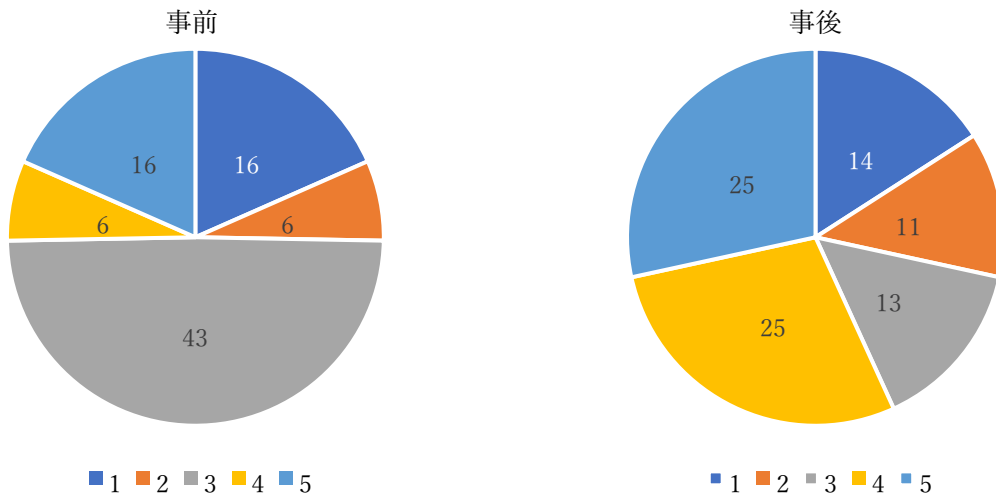
「4」と「5」の合計が、事前では54.5%、事後では31.8%で、減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では14.8%、事後では35.2%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	5.7%	9.1%	30.7%	23.9%	30.7%
事後	17.0%	18.2%	33.0%	13.6%	18.2%

(3) 人にプレゼントをあげるのが好き

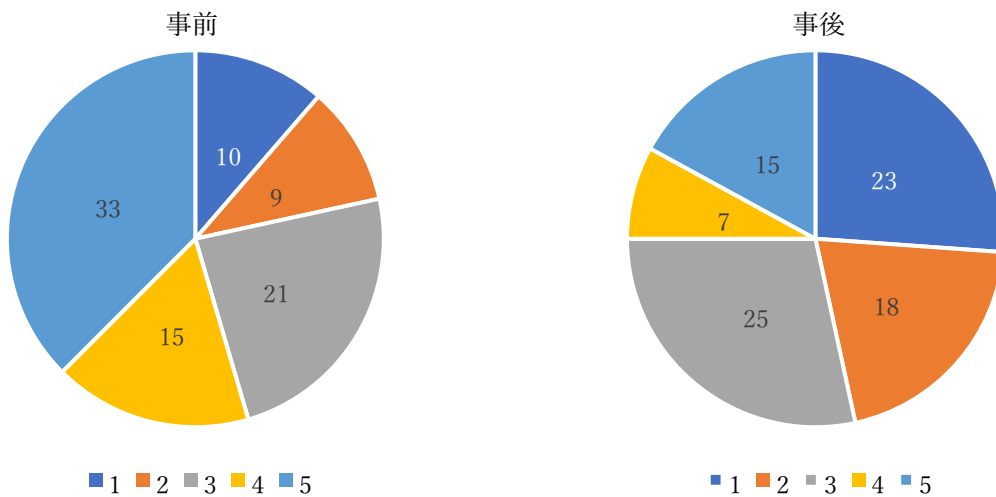
「4」と「5」の合計が、事前では25.3%、事後では56.8%で、大きく増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では25.3%、事後では28.4%で、やや増加している。



	1	2	3	4	5
事前	18.4%	6.9%	49.4%	6.9%	18.4%
事後	15.9%	12.5%	14.8%	28.4%	28.4%

(4) 食事をするときは、野菜から食べる

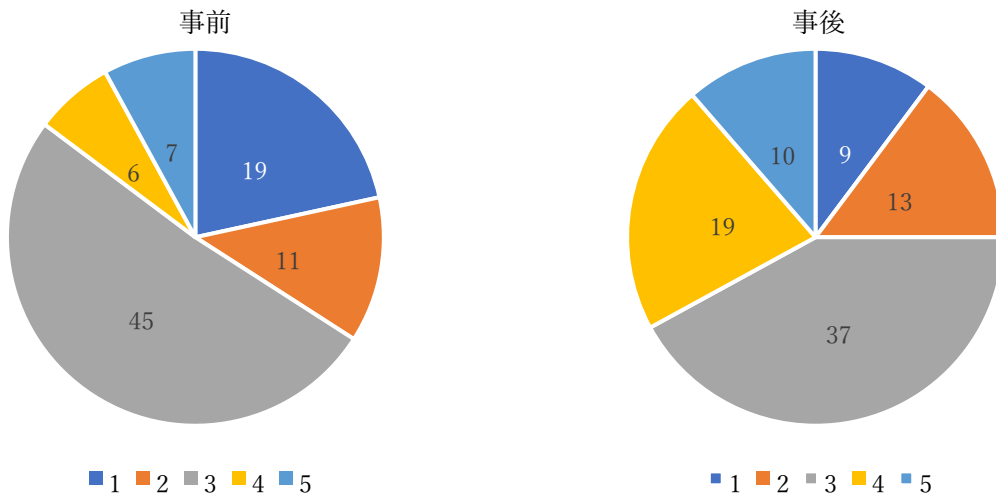
「4」と「5」の合計が、事前では54.5%、事後では25.0%で、大きく減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では21.6%、事後では46.6%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	11.4%	10.2%	23.9%	17.0%	37.5%
事後	26.1%	20.5%	28.4%	8.0%	17.0%

(5) 大ヒット中のアニメより、マニアックなアニメを観る

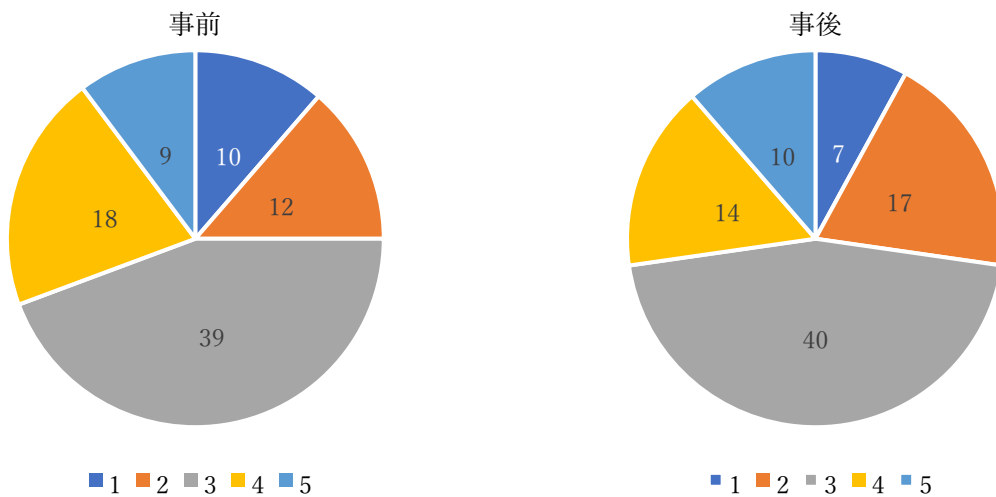
「4」と「5」の合計が、事前では14.8%、事後では33.0%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では34.1%、事後では25.0%で、減少している。



	1	2	3	4	5
事前	21.6%	12.5%	51.1%	6.8%	8.0%
事後	10.2%	14.8%	42.0%	21.6%	11.4%

(6) 外出する前に天気予報をチェックする

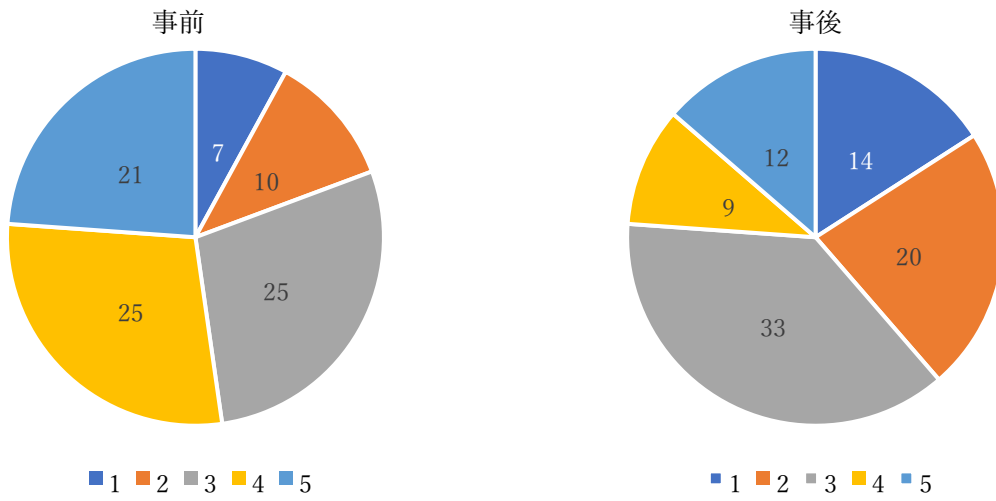
「4」と「5」の合計が、事前では30.7%、事後では27.3%で、やや減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では25.0%、事後では27.3%で、やや増加している。



	1	2	3	4	5
事前	11.4%	13.6%	44.3%	20.5%	10.2%
事後	8.0%	19.3%	45.5%	15.9%	11.4%

(7) 遊園地では、必ず絶叫マシンに乗る

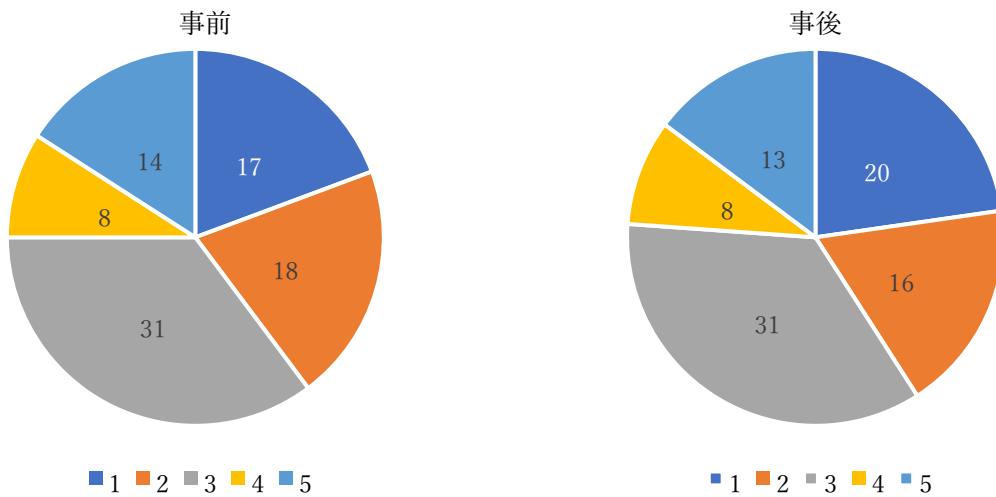
「4」と「5」の合計が、事前では52.3%、事後では23.9%で、大きく減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では19.3%、事後では38.6%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	8.0%	11.4%	28.4%	28.4%	23.9%
事後	15.9%	22.7%	37.5%	10.2%	13.6%

(8) くじ引きをよく買う

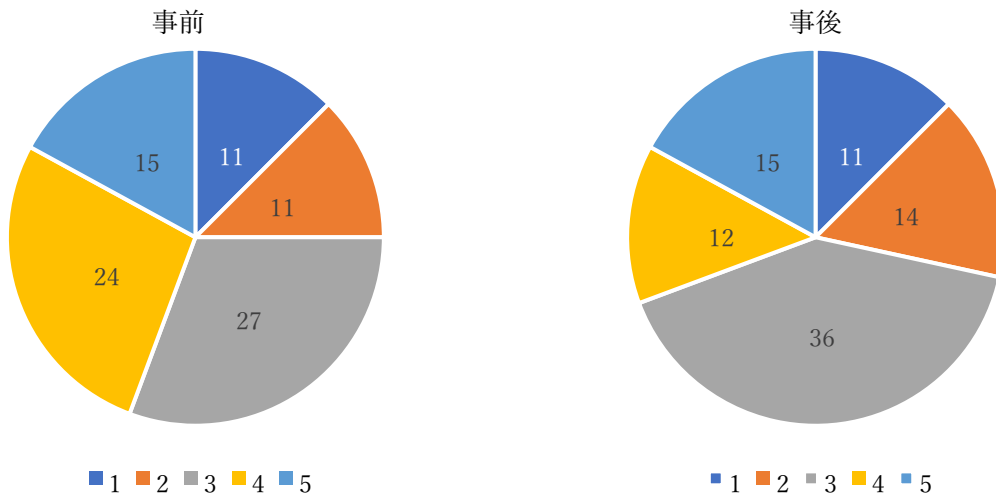
「4」と「5」の合計が、事前では25.0%、事後では23.9%で、ほぼ変化はない。
 「1」と「2」の合計は、事前では39.8%、事後では40.9%で、ほぼ変化はない。



	1	2	3	4	5
事前	19.3%	20.5%	35.2%	9.1%	15.9%
事後	22.7%	18.2%	35.2%	9.1%	14.8%

(9) 外食をするときは、真ん中の席に座ることが多い

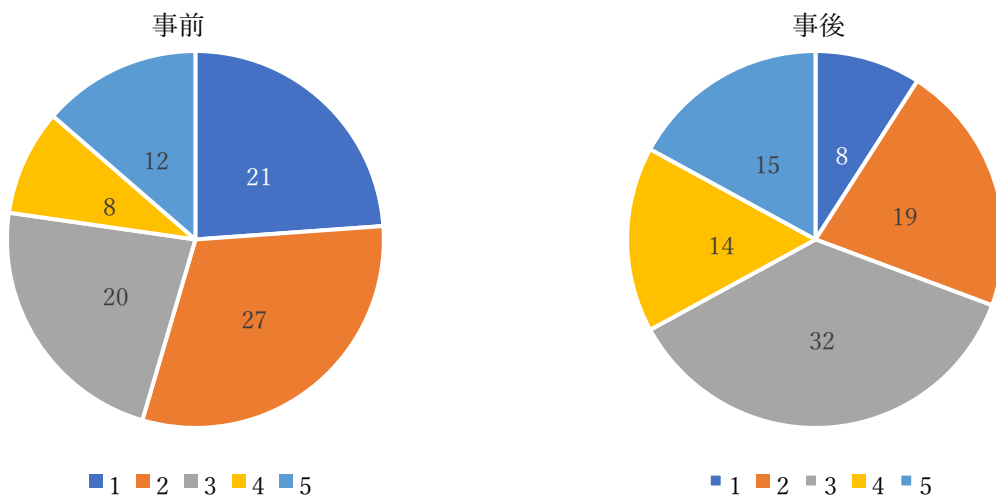
「4」と「5」の合計が、事前では44.3%、事後では30.7%で、減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では25.0%、事後では28.4%で、やや増加している。



	1	2	3	4	5
事前	12.5%	12.5%	30.7%	27.3%	17.0%
事後	12.5%	15.9%	40.9%	13.6%	17.0%

(10) 自らの弱みを理解し、その対処方法が分かっている

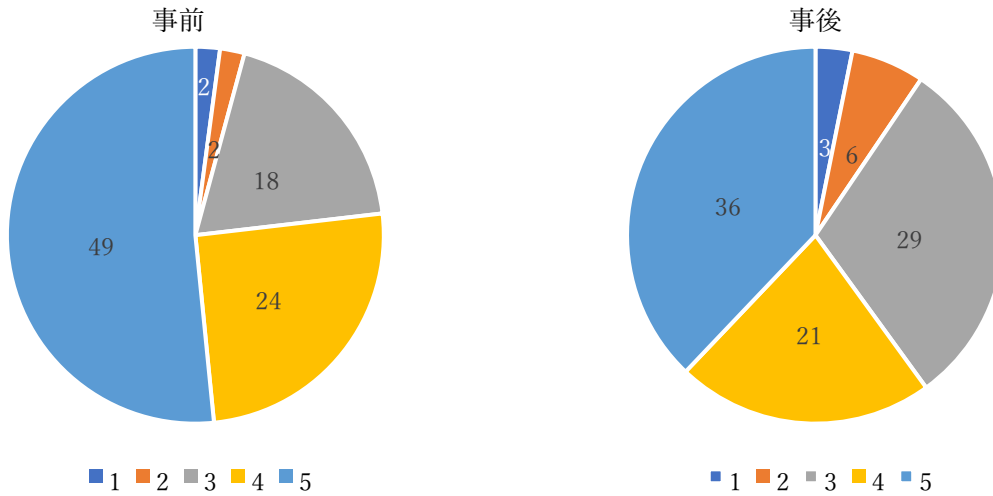
「4」と「5」の合計が、事前では22.7%、事後では33.0%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では54.5%、事後では30.7%で、減少している。



	1	2	3	4	5
事前	23.9%	30.7%	22.7%	9.1%	13.6%
事後	9.1%	21.6%	36.4%	15.9%	17.0%

(11) 尊敬する偉人や知人からどんなことを学んだか、まとめることができる

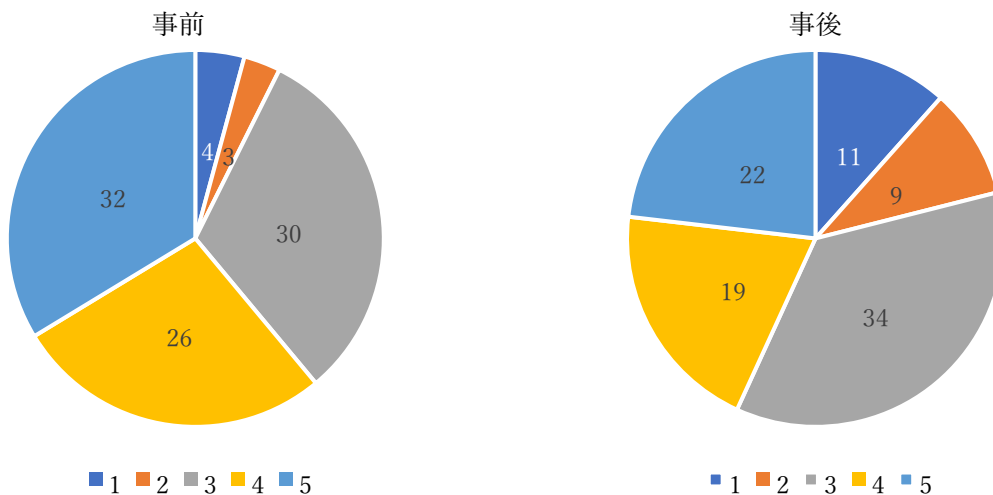
「4」と「5」の合計が、事前では76.8%、事後では60.0%で、減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では4.2%、事後では9.5%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	2.1%	2.1%	18.9%	25.3%	51.6%
事後	3.2%	6.3%	30.5%	22.1%	37.9%

(12) 問題解決の方法を明確にし、計画的に取り組むことができる

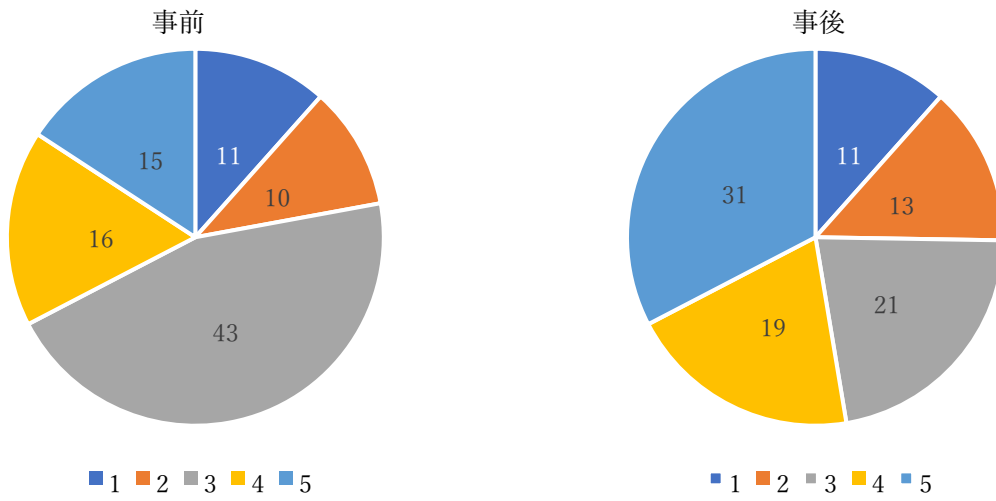
「4」と「5」の合計が、事前では61.1%、事後では43.2%で、減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では7.4%、事後では21.1%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	4.2%	3.2%	31.6%	27.4%	33.7%
事後	11.6%	9.5%	35.8%	20.0%	23.2%

(13) 新しいことにチャレンジするとき、まずやってみるタイプだ

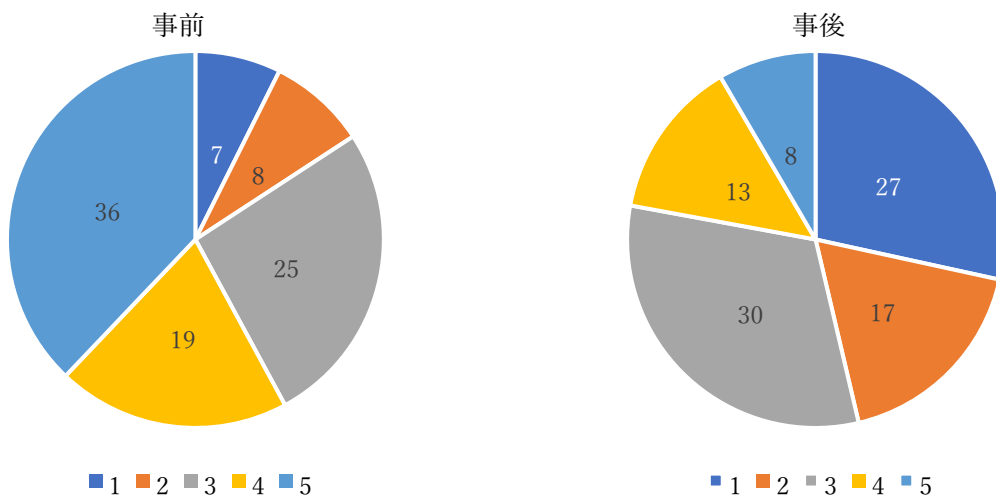
「4」と「5」の合計が、事前では32.6%、事後では52.6%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では22.1%、事後では25.3%で、やや増加している。



	1	2	3	4	5
事前	11.6%	10.5%	45.3%	16.8%	15.8%
事後	11.6%	13.7%	22.1%	20.0%	32.6%

(14) 前もって決めていた予定が狂うことにストレスを感じない

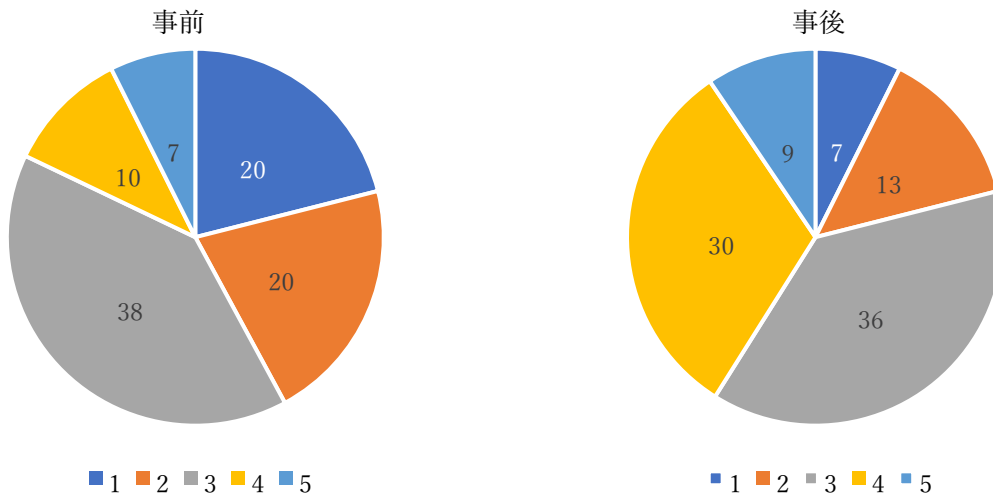
「4」と「5」の合計が、事前では57.9%、事後では22.1%で、大きく減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では15.8%、事後では46.3%で、大きく増加している。



	1	2	3	4	5
事前	7.4%	8.4%	26.3%	20.0%	37.9%
事後	28.4%	17.9%	31.6%	13.7%	8.4%

(15) 気になるニュースを国内・国外1つずつ選び、考えを話すことができる

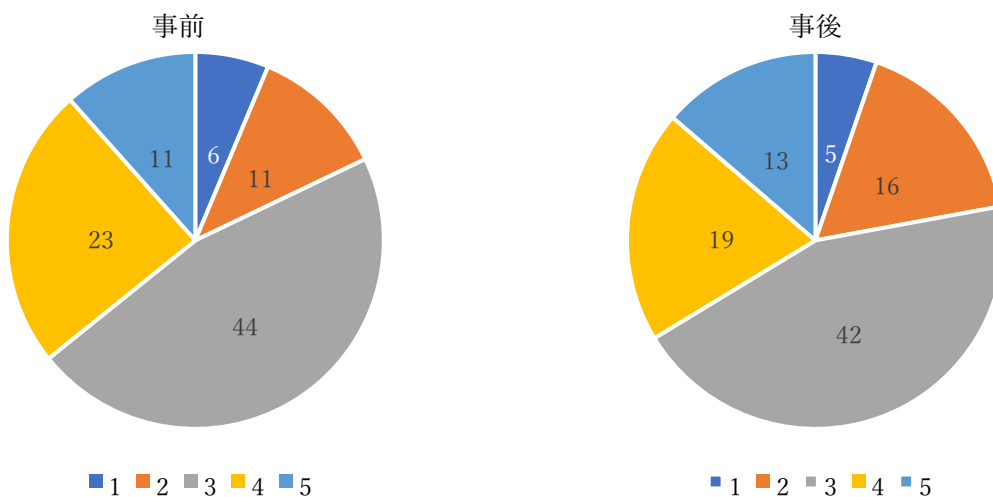
「4」と「5」の合計が、事前では17.9%、事後では41.1%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では42.1%、事後では21.1%で、減少している。



	1	2	3	4	5
事前	21.1%	21.1%	40.0%	10.5%	7.4%
事後	7.4%	13.7%	37.9%	31.6%	9.5%

(16) SNSを使いこなし、日頃から自分の考えなどを発信している

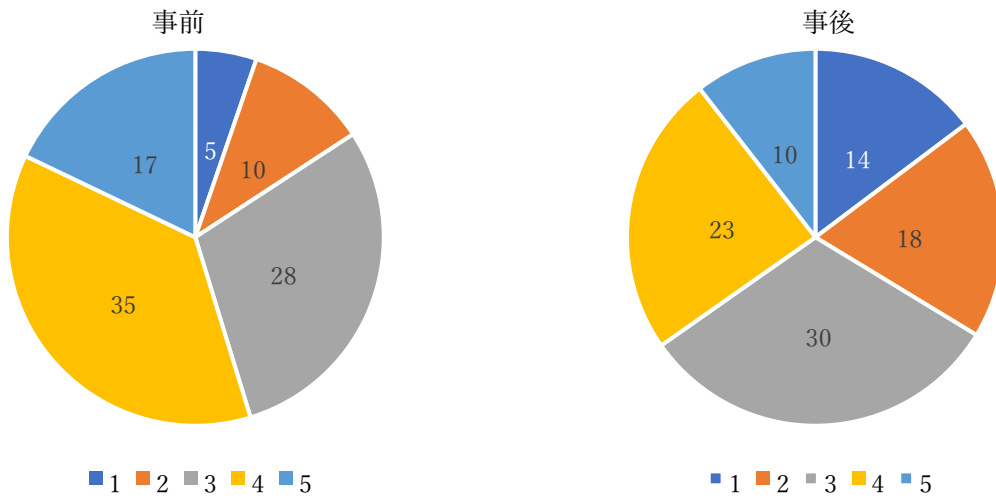
「4」と「5」の合計が、事前では35.8%、事後では33.7%で、ほぼ変化はない。
 「1」と「2」の合計は、事前では17.9%、事後では22.1%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	6.3%	11.6%	46.3%	24.2%	11.6%
事後	5.3%	16.8%	44.2%	20.0%	13.7%

(17) 周囲から強く反対されても、納得がいかなければまずは反論する

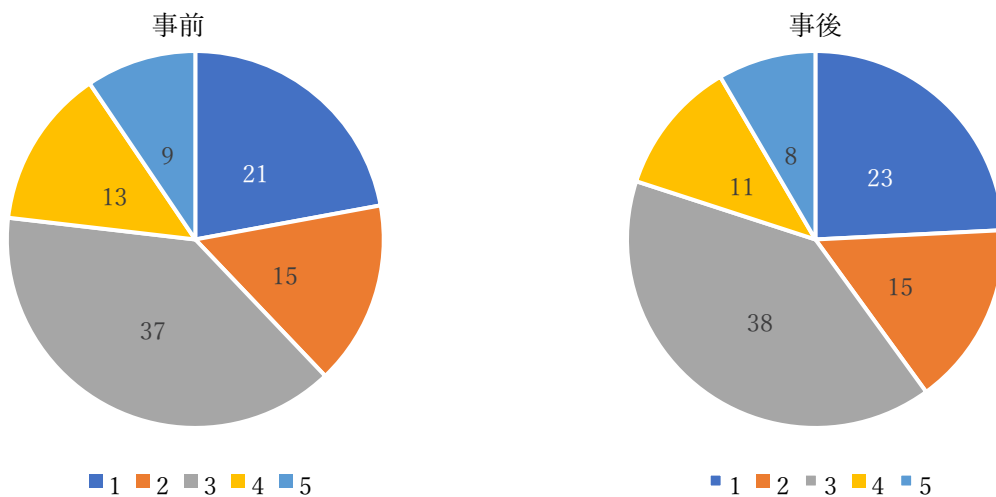
「4」と「5」の合計が、事前では54.7%、事後では34.7%で、減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では15.8%、事後では33.7%で、増加している。



	1	2	3	4	5
事前	5.3%	10.5%	29.5%	36.8%	17.9%
事後	14.7%	18.9%	31.6%	24.2%	10.5%

(18) 他人の良いところに目が行きがちで、本人に伝えたいタイプだ

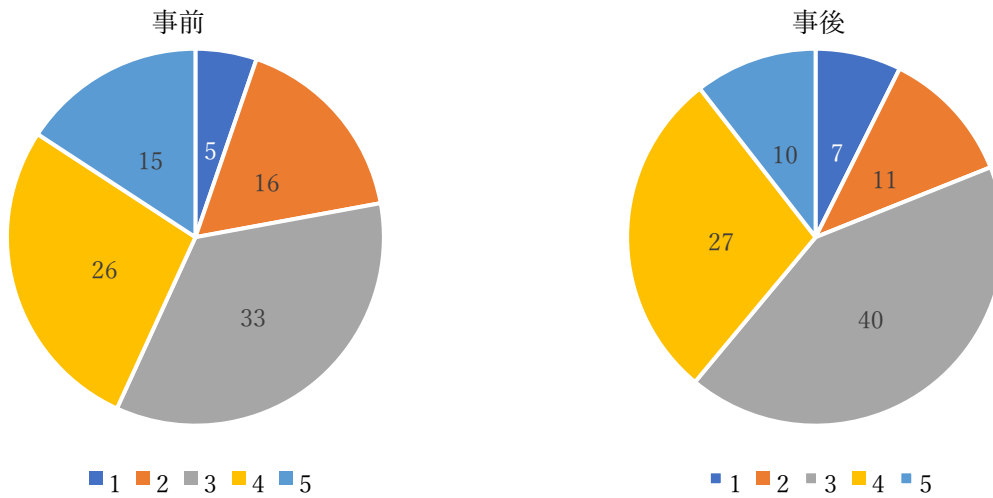
「4」と「5」の合計が、事前では23.2%、事後では20.0%で、やや減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では37.9%、事後では40.0%で、やや増加している。



	1	2	3	4	5
事前	22.1%	15.8%	38.9%	13.7%	9.5%
事後	24.2%	15.8%	40.0%	11.6%	8.4%

(19) 失敗した際はあまり落ち込まない方だ

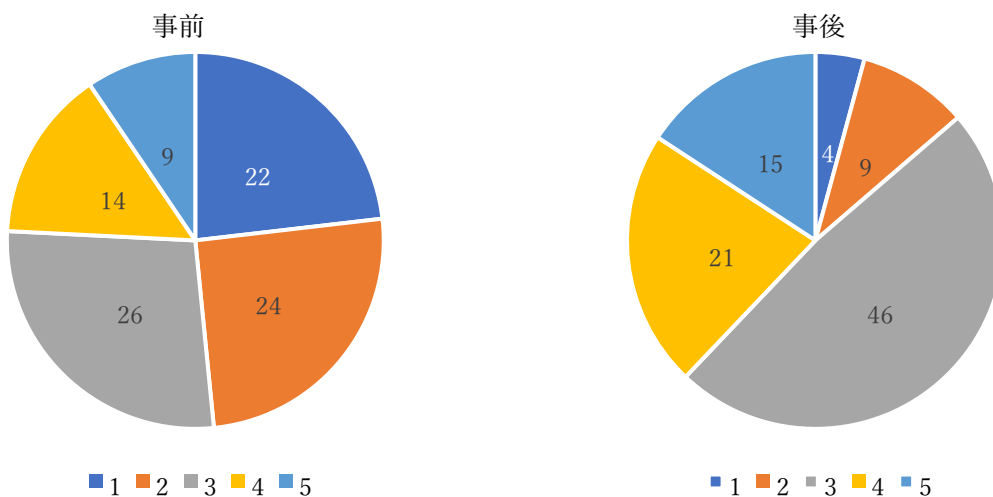
「4」と「5」の合計が、事前では43.2%、事後では38.9%で、やや減少している。
 「1」と「2」の合計は、事前では22.1%、事後では18.9%で、やや減少している。



	1	2	3	4	5
事前	5.3%	16.8%	34.7%	27.4%	15.8%
事後	7.4%	11.6%	42.1%	28.4%	10.5%

(20) 問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える

「4」と「5」の合計が、事前では24.2%、事後では37.9%で、増加している。
 「1」と「2」の合計は、事前では48.4%、事後では13.7%で、大きく減少している。



	1	2	3	4	5
事前	23.2%	25.3%	27.4%	14.7%	9.5%
事後	4.2%	9.5%	48.4%	22.1%	15.8%

3. 対応のある事前・事後の比較

各質問項目について、事前・事後の間に統計的な有意差があったかどうかを示す。

各質問項目について、対応（学籍番号で対応性を確保）のある t 検定を行い、事前と事後で大きな変化（統計的有意差）があったかどうかを検証した。その結果、「(1)面倒くさいなと思う時こそ、自分の力が試されると思う」「(3)人にプレゼントをあげるのが好き」「(4)食事をするときは、野菜から食べる」「(10)自らの弱みを理解し、その対処方法がわかっている」「(20)問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える」の5つの項目において統計的有意な差が検出された。

「(1)面倒くさいなと思う時こそ、自分の力が試されると思う」においては、事前（3.45902）より事後（4.14754）の方が高い平均値であることから、自らに降りかかってきた課題に対する主体性や積極性が増していることが伺える。

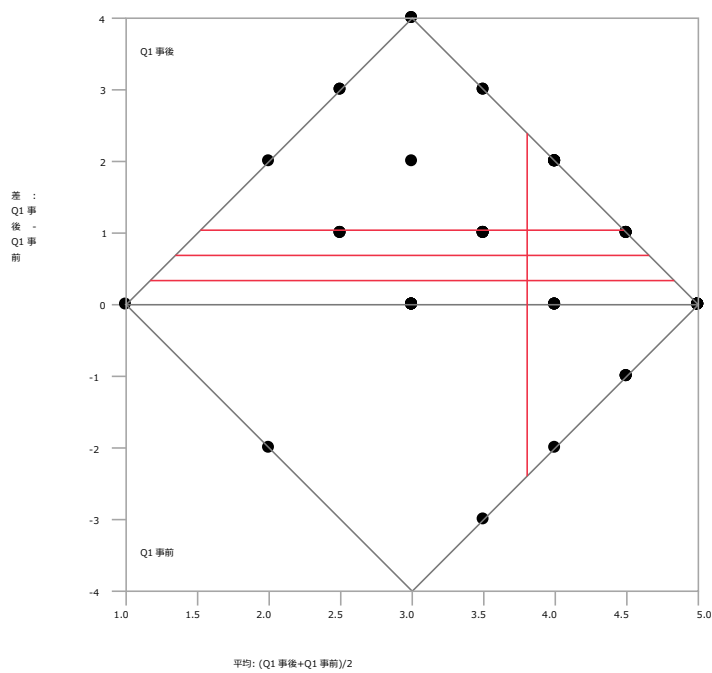
「(3)人にプレゼントをあげるのが好き」においては、事前（3.64557）より事後（3.87342）の方が高い平均値であることから、他者に対する奉仕の精神や社交性が増していることが伺える。

「(4)食事をするときは、野菜から食べる」においては、事前（2.96203）より事後（3.29114）の方が高い平均値であることから、野菜を食べること、あるいは健康的な食事に対する意識が向上したことが伺える。

「(10)自らの弱みを理解し、その対処方法がわかっている」においては、事前（3）より事後（3.25316）の方が高い平均値であることから、自らの弱点と向き合い、それを受け入れた上で合理的に乗り越えようとする主体性と思考力の向上が伺える。

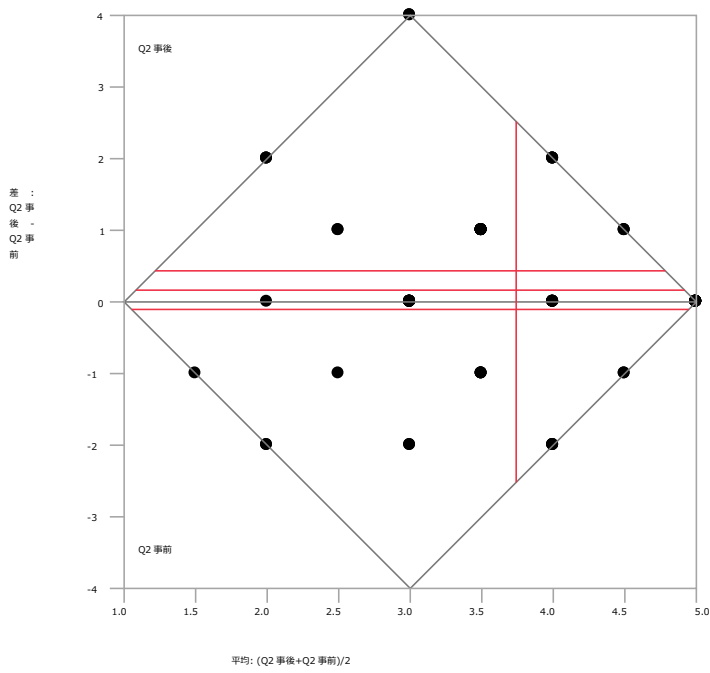
「(20)問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える」においては、事前（3.08861）より事後（3.35443）の方が高い平均値であることから、自らに降りかかってきた課題に対して、冷静に思考できる力の向上が伺える。

(1) 面倒くさいなと思う時こそ、自分の力が試されると思う



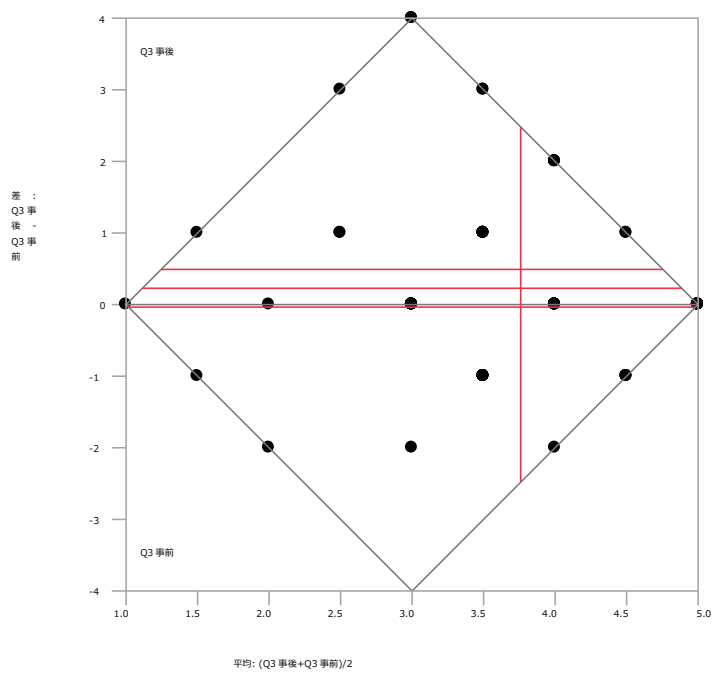
Q1 事後	4.14754	t 値	3.917088
Q1 事前	3.45902	自由度	60
差の平均	0.68852	p 値(Prob> t)	0.0002*
標準誤差	0.17577	p 値(Prob>t)	0.0001*
上側 95%	1.04013	p 値(Prob<t)	0.9999
下側 95%	0.33692		
N	61		
相関	0.30524		

(2) 世の中は弱肉強食だと思う



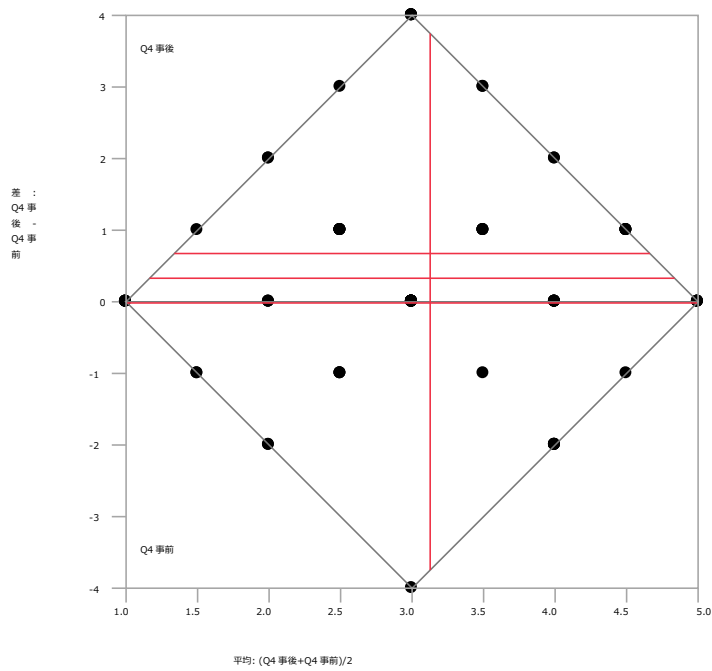
Q2 事後	3.82278	t 値	1.215922
Q2 事前	3.65823	自由度	78
差の平均	0.16456	p 値(Prob> t)	0.2277
標準誤差	0.13534	p 値(Prob>t)	0.1138
上側 95%	0.43399	p 値(Prob<t)	0.8862
下側 95%	-0.1049		
N	79		
相関	0.43451		

(3) 人にプレゼントをあげるのが好き



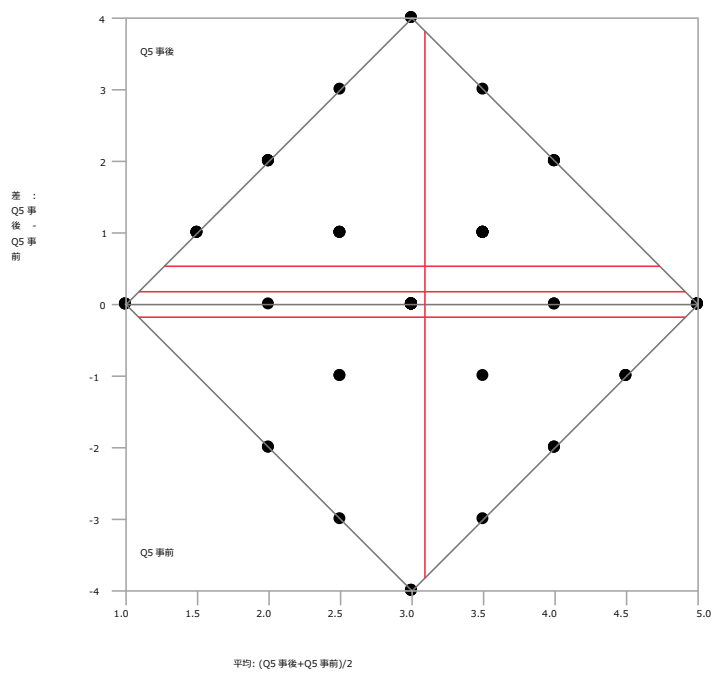
Q3 事後	3.87342	t 値	1.721861
Q3 事前	3.64557	自由度	78
差の平均	0.22785	p 値(Prob> t)	0.0891
標準誤差	0.13233	p 値(Prob>t)	0.0445*
上側 95%	0.49129	p 値(Prob<t)	0.9555
下側 95%	-0.0356		
N	79		
相関	0.45903		

(4) 食事をするとき、野菜から食べる



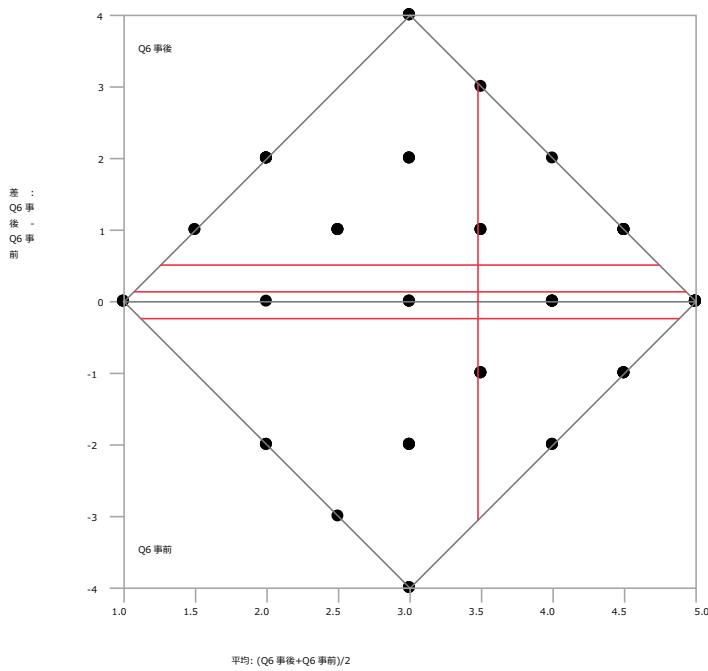
Q4 事後	3.29114	t 値	1.897151
Q4 事前	2.96203	自由度	78
差の平均	0.32911	p 値(Prob> t)	0.0615
標準誤差	0.17348	p 値(Prob>t)	0.0308*
上側 95%	0.67448	p 値(Prob<t)	0.9692
下側 95%	-0.0163		
N	79		
相関	0.29005		

(5) 大ヒット中のアニメより、マニアックなアニメをみる



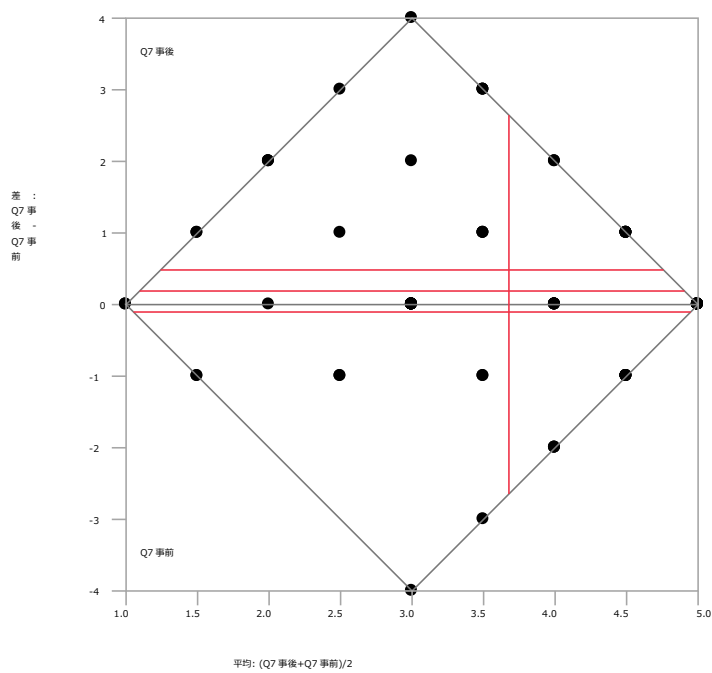
Q5 事後	3.17949	t 値	1.005209
Q5 事前	3	自由度	77
差の平均	0.17949	p 値(Prob> t)	0.3179
標準誤差	0.17856	p 値(Prob>t)	0.1590
上側 95%	0.53504	p 値(Prob<t)	0.8410
下側 95%	-0.1761		
N	78		
相関	0.20831		

(6) 外出する前に天気予報をチェックする



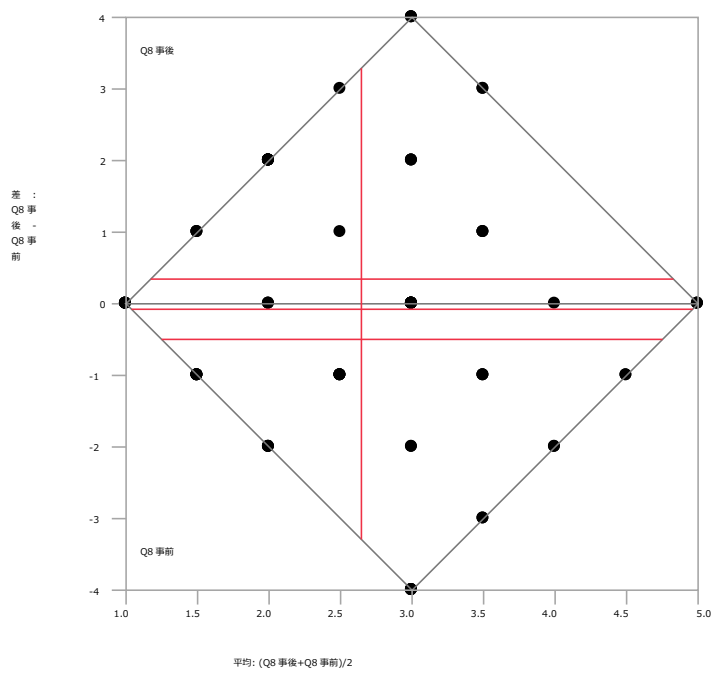
Q6 事後	3.5443	t 値	0.741188
Q6 事前	3.40506	自由度	78
差の平均	0.13924	p 値(Prob> t)	0.4608
標準誤差	0.18786	p 値(Prob>t)	0.2304
上側 95%	0.51324	p 値(Prob<t)	0.7696
下側 95%	-0.2348		
N	79		
相関	0.29639		

(7) 遊園地では、必ず絶叫マシンに乗る



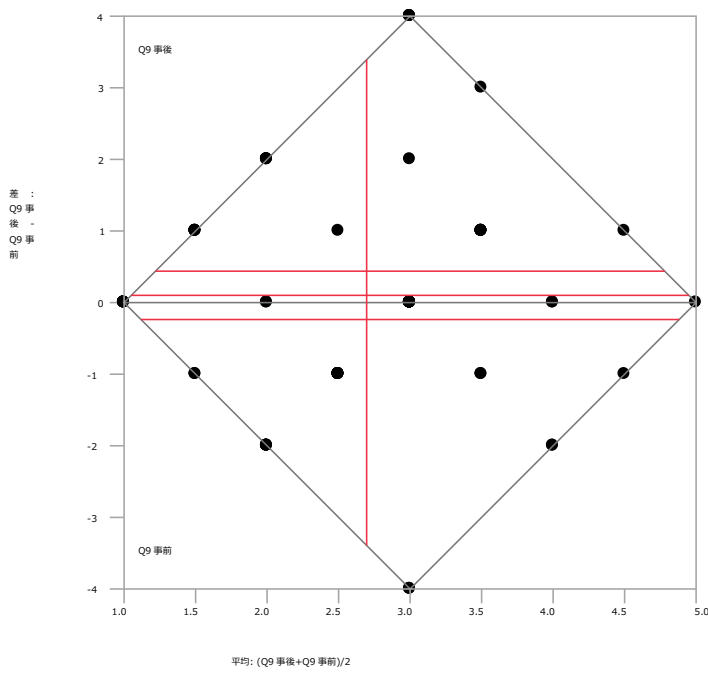
Q7 事後	3.77215	t 値	1.286846
Q7 事前	3.58228	自由度	78
差の平均	0.18987	p 値(Prob> t)	0.2020
標準誤差	0.14755	p 値(Prob>t)	0.1010
上側 95%	0.48362	p 値(Prob<t)	0.8990
下側 95%	-0.1039		
N	79		
相関	0.49365		

(8) くじ引きをよく買う



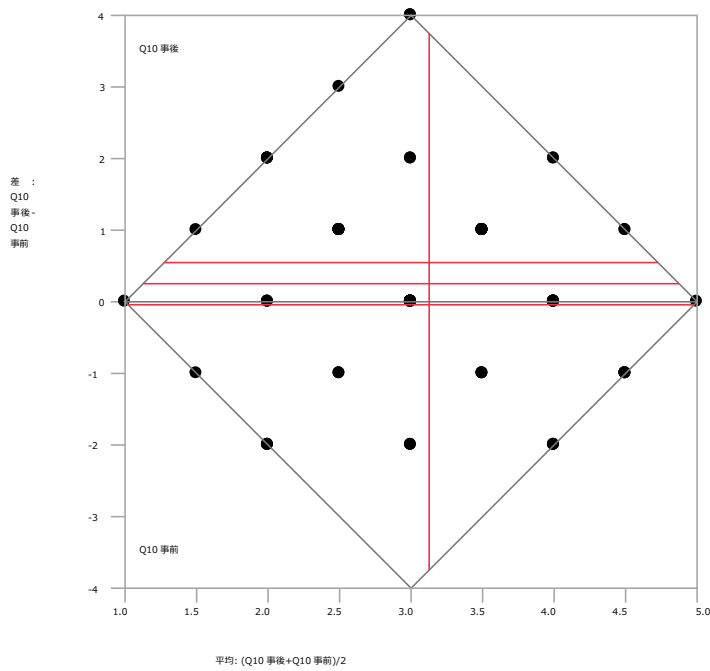
Q8 事後	2.60759	t 値	-0.35916
Q8 事前	2.68354	自由度	78
差の平均	-0.0759	p 値(Prob> t)	0.7204
標準誤差	0.21146	p 値(Prob>t)	0.6398
上側 95%	0.34504	p 値(Prob<t)	0.3602
下側 95%	-0.4969		
N	79		
相関	0.03648		

(9) 外食をするときは、真ん中の席に座ることが多い



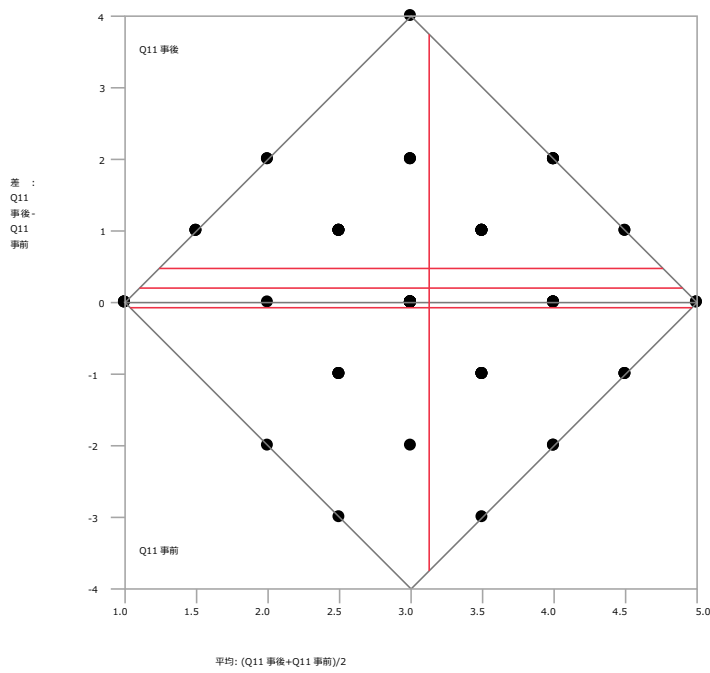
Q9 事後	2.74684	t 値	0.597179
Q9 事前	2.64557	自由度	78
差の平均	0.10127	p 値(Prob> t)	0.5521
標準誤差	0.16957	p 値(Prob>t)	0.2761
上側 95%	0.43886	p 値(Prob<t)	0.7239
下側 95%	-0.2363		
N	79		
相関	0.15229		

(10) 自らの弱みを理解し、その対処方法がわかっている



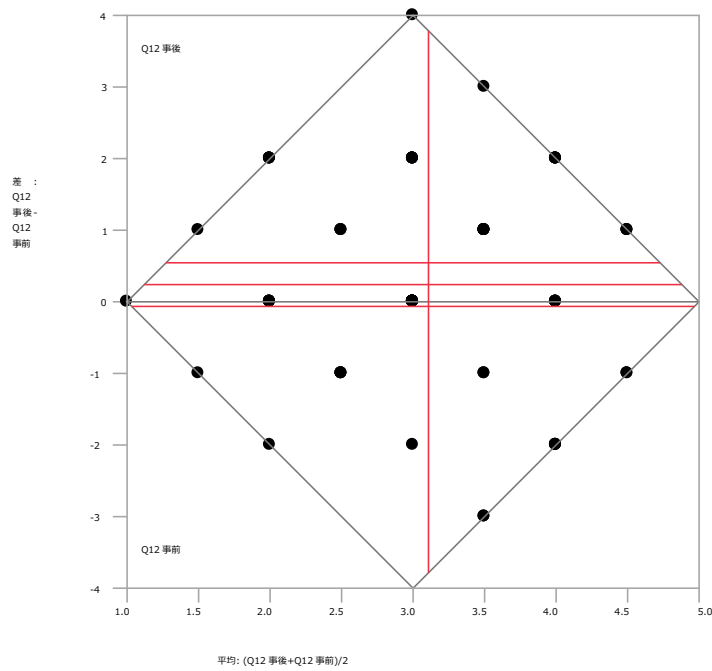
Q10 事後	3.25316	t 値	1.710798
Q10 事前	3	自由度	78
差の平均	0.25316	p 値(Prob> t)	0.0911
標準誤差	0.14798	p 値(Prob>t)	0.0455*
上側 95%	0.54777	p 値(Prob<t)	0.9545
下側 95%	-0.0414		
N	79		
相関	0.23824		

(11) 尊敬する偉人や知人からどんなことを学んだか、まとめることができる



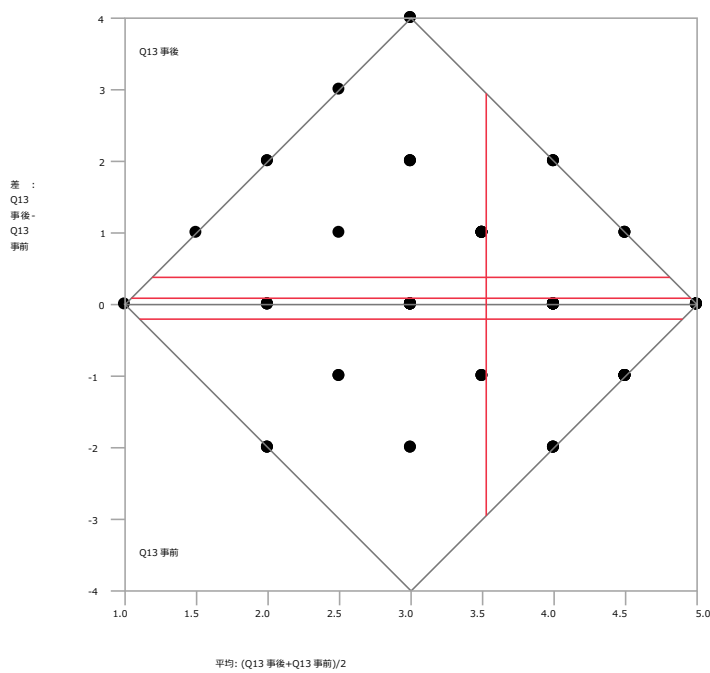
Q11 事後	3.22785	t 値	1.471322
Q11 事前	3.02532	自由度	78
差の平均	0.20253	p 値(Prob> t)	0.1452
標準誤差	0.13765	p 値(Prob>t)	0.0726
上側 95%	0.47658	p 値(Prob<t)	0.9274
下側 95%	-0.0715		
N	79		
相関	0.33637		

(12) 問題解決の方法を明確にし、計画的に取り組むことができる



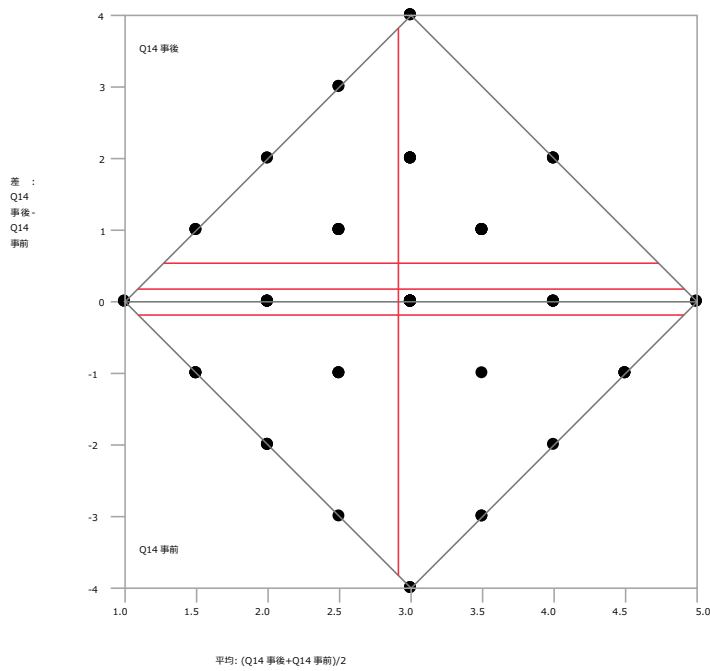
Q12 事後	3.22785	t 値	1.570935
Q12 事前	2.98734	自由度	78
差の平均	0.24051	p 値(Prob> t)	0.1202
標準誤差	0.1531	p 値(Prob>t)	0.0601
上側 95%	0.5453	p 値(Prob<t)	0.9399
下側 95%	-0.0643		
N	79		
相関	0.15514		

(13) 新しいことにチャレンジするとき、まずやってみるタイプだ



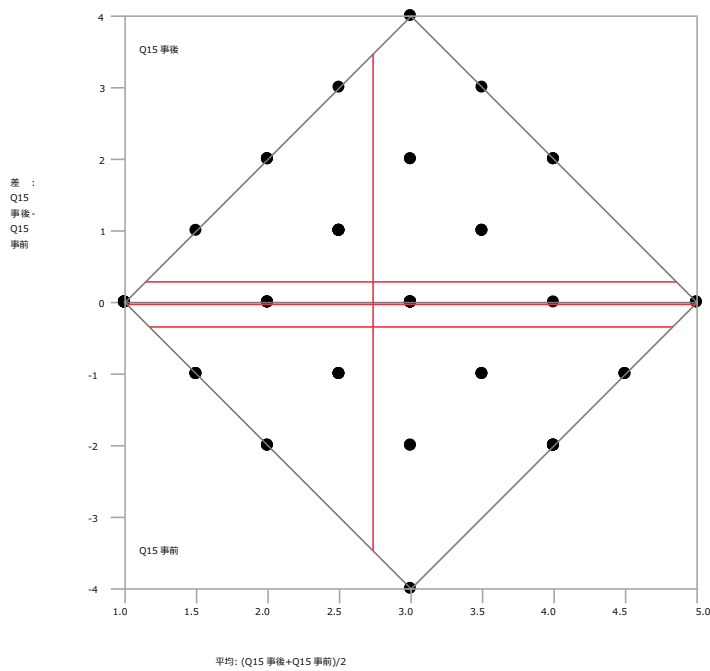
Q13 事後	3.56962	t 値	0.604534
Q13 事前	3.48101	自由度	78
差の平均	0.08861	p 値(Prob> t)	0.5472
標準誤差	0.14657	p 値(Prob>t)	0.2736
上側 95%	0.38041	p 値(Prob<t)	0.7264
下側 95%	-0.2032		
N	79		
相関	0.36328		

(14) 前もって決めていた予定が狂うことにストレスを感じない



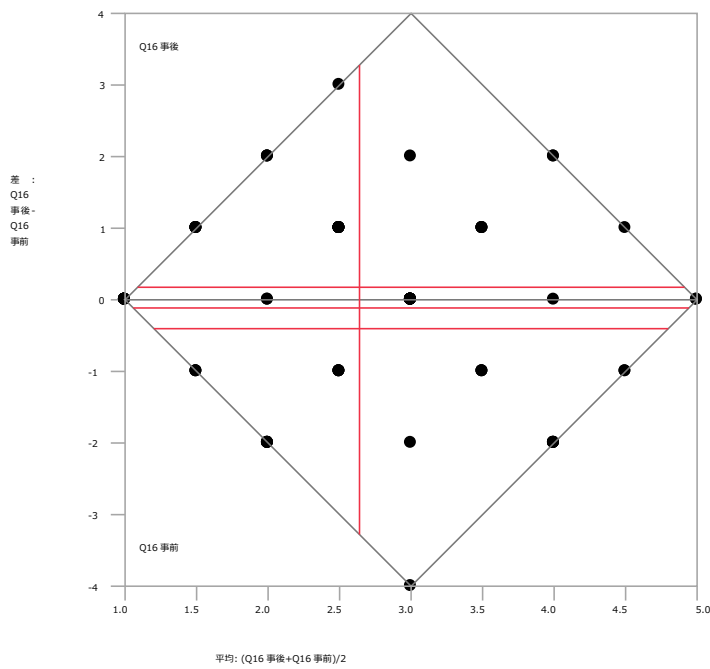
Q14 事後	3	t 値	0.975123
Q14 事前	2.82278	自由度	78
差の平均	0.17722	p 値(Prob> t)	0.3325
標準誤差	0.18174	p 値(Prob>t)	0.1663
上側 95%	0.53902	p 値(Prob<t)	0.8337
下側 95%	-0.1846		
N	79		
相関	0.12094		

(15) 気になるニュースを国内・国外1つずつ選び、考えを話すことができる



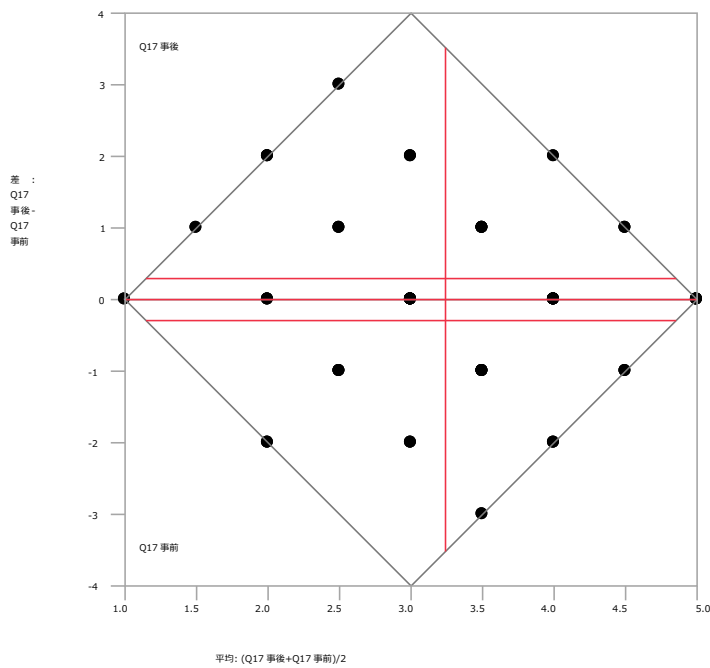
Q15 事後	2.72152	t 値	-0.16017
Q15 事前	2.74684	自由度	78
差の平均	-0.0253	p 値(Prob> t)	0.8732
標準誤差	0.15806	p 値(Prob>t)	0.5634
上側 95%	0.28936	p 値(Prob<t)	0.4366
下側 95%	-0.34		
N	79		
相関	0.3671		

(16) SNS を使いこなし、日頃から自分の考えなどを発信している



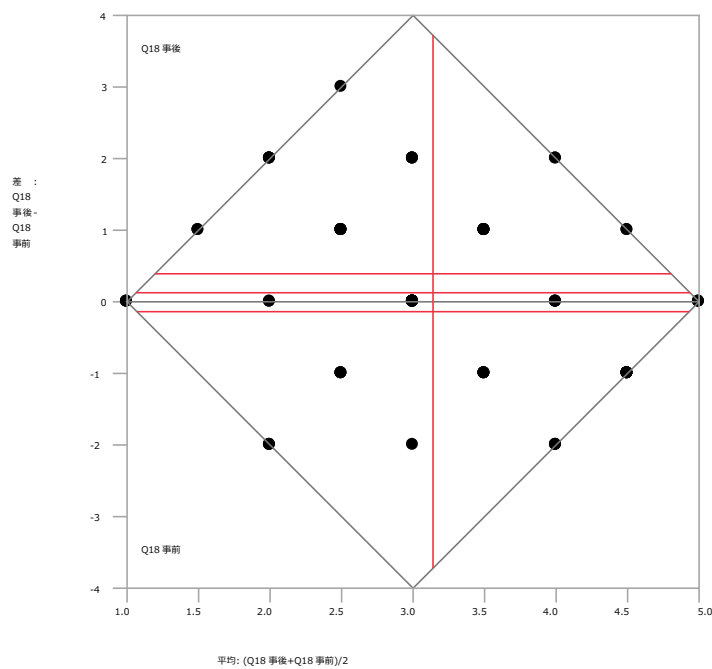
Q16 事後	2.58228	t 値	-0.78442
Q16 事前	2.6962	自由度	78
差の平均	-0.1139	p 値(Prob> t)	0.4352
標準誤差	0.14523	p 値(Prob>t)	0.7824
上側 95%	0.17521	p 値(Prob<t)	0.2176
下側 95%	-0.4031		
N	79		
相関	0.46088		

(17) 周囲から強く反対されても、納得がいかなければまずは反論する



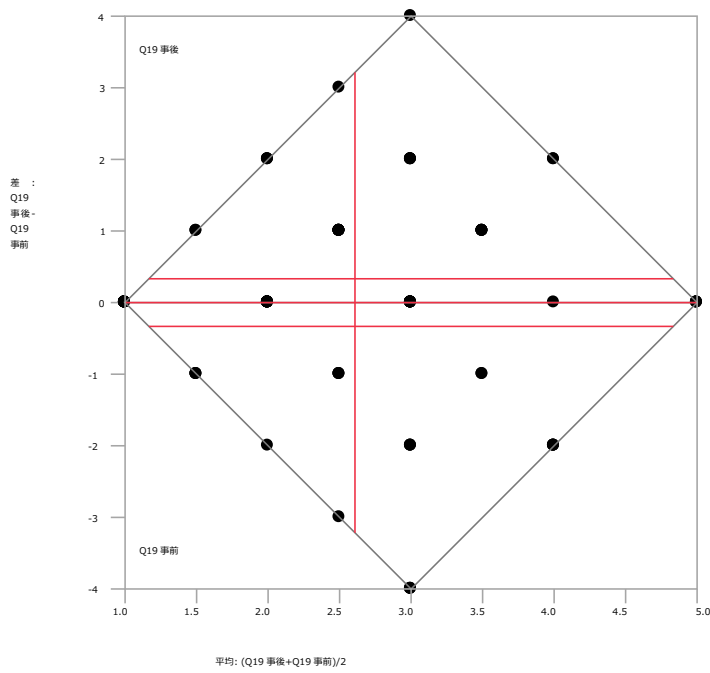
Q17 事後	3.24051	t 値	0
Q17 事前	3.24051	自由度	78
差の平均	0	p 値(Prob> t)	1.0000
標準誤差	0.14747	p 値(Prob>t)	0.5000
上側 95%	0.29358	p 値(Prob<t)	0.5000
下側 95%	-0.2936		
N	79		
相関	0.3905		

(18) 他人の良いところに目が行きがちで、本人に伝えたいくなるタイプだ



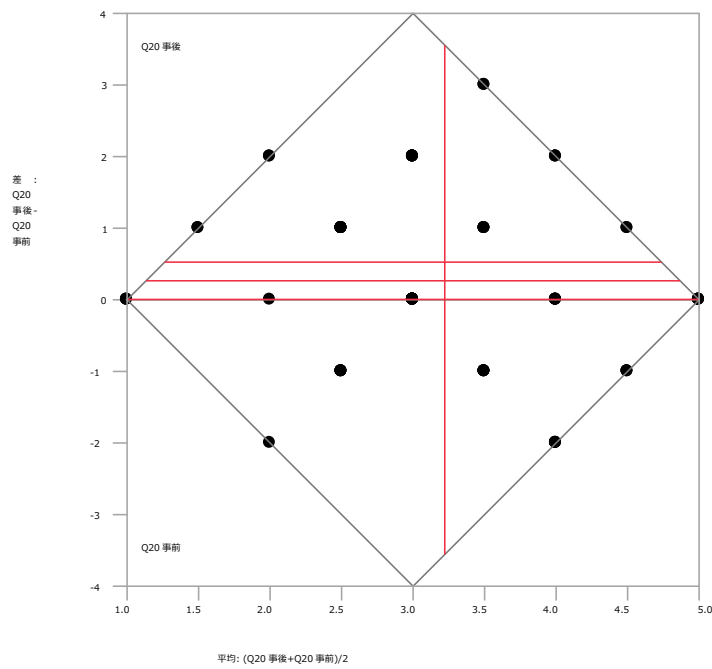
Q18 事後	3.20253	t 値	0.952907
Q18 事前	3.07595	自由度	78
差の平均	0.12658	p 値(Prob> t)	0.3436
標準誤差	0.13284	p 値(Prob>t)	0.1718
上側 95%	0.39104	p 値(Prob<t)	0.8282
下側 95%	-0.1379		
N	79		
相関	0.45327		

(19) 失敗した際はあまり落ち込まない方だ



Q19 事後	2.60759	t 値	0
Q19 事前	2.60759	自由度	78
差の平均	0	p 値(Prob> t)	1.0000
標準誤差	0.16707	p 値(Prob>t)	0.5000
上側 95%	0.33261	p 値(Prob<t)	0.5000
下側 95%	-0.3326		
N	79		
相関	0.32775		

(20) 問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える



Q20 事後	3.35443	t 値	2.032339
Q20 事前	3.08861	自由度	78
差の平均	0.26582	p 値(Prob> t)	0.0455*
標準誤差	0.1308	p 値(Prob>t)	0.0228*
上側 95%	0.52622	p 値(Prob<t)	0.9772
下側 95%	0.00543		
N	79		
相関	0.4559		

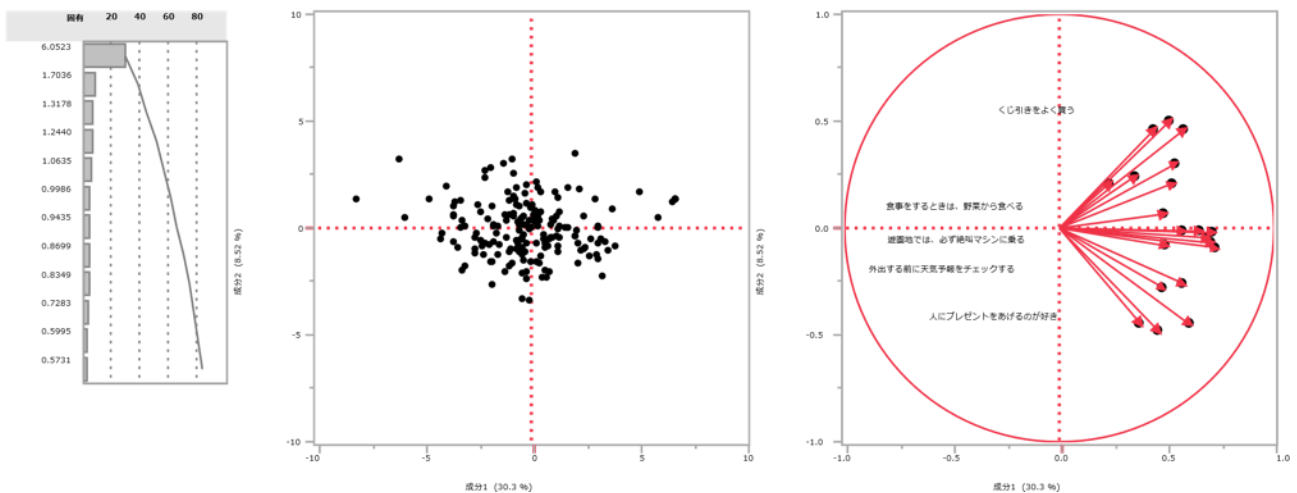
4. 主成分得点の事前・事後の比較 20の質問項目を主成分に集約し、主成分得点の事前・事後の比較を行う

主成分分析を行うことで、複数の質問項目を、少ない主成分に集約し、意味を再解釈することができる。主成分分析の結果、9つの主成分が検出された。9つの主成分について、事前・事後の各生徒の主成分得点を出し、その比較（対応のあるt検定）を行った。その結果、主成分2と主成分9において統計的に有意な差が検出された。

主成分2については、固有ベクトルの値が、「面倒くさいと思う時こそ、自分の力が試されると思う」「世の中は弱肉強食だと思う」「人にプレゼントをあげるのが好き」の3つでマイナス、「くじ引きをよく買う」「気になるニュースを国内・国外1つずつ選び、考えを話すことができる」「SNSを使いこなし、日頃から自分の考えなどを発信している」の3つでプラスであることから、主成分2は「自分の力で回りに気を配りながら生きていこうとする力」のマイナスの価値と解釈できる。この主成分得点が、事前より事後の方が平均値が下がっており（-0.5918）、このことから、「自分の力で回りに気を配りながら生きていこうとする力」は高まっているものと解される。

主成分9については、固有ベクトルの値が、「食事をするときは、野菜から食べる」でマイナス、「外食をするときは、真ん中の席に座ることが多い」「周囲から強く反対されても、納得がいかなければまずは反論する」の2つでプラスであることから、主成分9は「自分中心で利他的な考え方」と解釈できる。この主成分得点が、事前より事後の方が平均値が下がっており（-0.2561）、このことから、「自分中心で利他的な考え方」は低下しているものと解される。

要約プロット



固有値

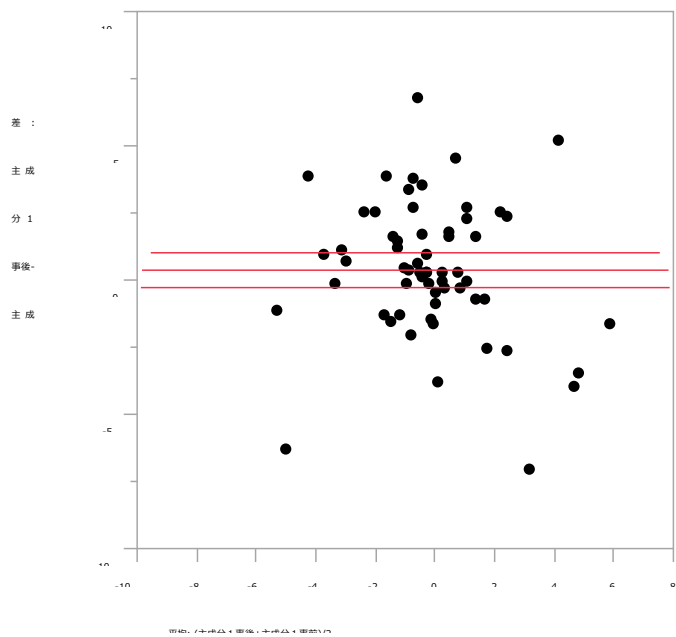
番号	固有値	寄与率	寄与率	累積寄与率	カイ2乗	自由度	p 値 (Prob>ChiSq)
1	6.0523	30.262		30.262	1191.48	185.217	<.0001*
2	1.7036	8.518		38.780	474.867	176.597	<.0001*
3	1.3178	6.589		45.369	380.787	160.362	<.0001*
4	1.2440	6.220		51.588	326.787	144.185	<.0001*
5	1.0635	5.318		56.906	273.064	128.861	<.0001*
6	0.9986	4.993		61.899	235.275	114.037	<.0001*
7	0.9435	4.717		66.616	199.141	100.096	<.0001*
8	0.8699	4.349		70.966	163.379	86.896	<.0001*
9	0.8349	4.175		75.140	130.814	74.660	<.0001*

固有ベクトル

	主成分 1	主成分 2	主成分 3	主成分 4	主成分 5	主成分 6	主成分 7	主成分 8	主成分 9
面倒くさいなと思うときこそ、自分の力が試される	0.18651	-0.36636	0.06608	0.19836	-0.04838	-0.38484	0.25162	0.16820	-0.26347
世の中は弱肉強食だと思う	0.15259	-0.33985	0.40027	0.12566	0.00763	-0.03646	0.40987	0.29626	0.09185
人にプレゼントをあげるのが好き	0.24623	-0.34466	-0.11850	-0.08952	0.03968	0.01199	-0.18714	0.25082	0.25751
食事をするときは、野菜から食べる	0.19680	0.04980	-0.40468	-0.08604	-0.05496	0.01731	0.32109	0.10317	-0.51282
大ヒット中のアニメより、マニアックなアニメをみる	0.09417	0.15979	-0.32363	-0.29361	0.49370	0.16846	0.39750	0.20956	0.26173
外出する前に天気予報をチェックする	0.19627	-0.21331	-0.13005	-0.05454	-0.24783	0.45548	0.24989	-0.23851	0.13571
遊園地では、必ず絶叫マシンに乗る	0.20020	-0.06276	-0.02300	0.21001	-0.22165	0.59416	-0.14884	-0.01752	-0.26713
くじ引きをよく買う	0.17862	0.35104	-0.01328	0.43244	0.03192	0.05017	0.14775	0.20874	0.21129
外食をするときは、真ん中の席に座ることが多い	0.21458	0.16020	0.05524	0.36882	-0.25685	-0.04788	0.17116	-0.27266	0.35413
自らの弱みを理解し、その対処方法がわかっている	0.29450	-0.06904	0.05023	0.11603	0.20009	-0.11871	-0.01737	-0.26730	0.02583
尊敬する偉人や知人からどんなことを学んだか、まとめることができる	0.27910	-0.03443	-0.19363	0.08497	0.07762	-0.32409	-0.22083	-0.21281	-0.10703
問題解決の方法を明確にし、計画的に取り組むことができる	0.28908	-0.01688	-0.23446	0.09277	0.22806	-0.13074	0.01530	-0.35750	0.03896
新しいことにチャレンジするとき、まずやってみるタイプだ	0.23317	-0.19736	-0.08587	0.14421	0.25317	0.17424	-0.34031	0.28576	0.05331
前もって決めていた予定が狂うことにストレスを感じない	0.21862	0.22902	0.31264	0.11984	0.23036	0.17532	-0.20471	0.20908	-0.20574
気になるニュースを国内・国外 1 つずつ選び、考えを話すことができる	0.23597	0.35227	-0.12364	0.00907	-0.11184	-0.15526	-0.22334	0.23339	0.06079

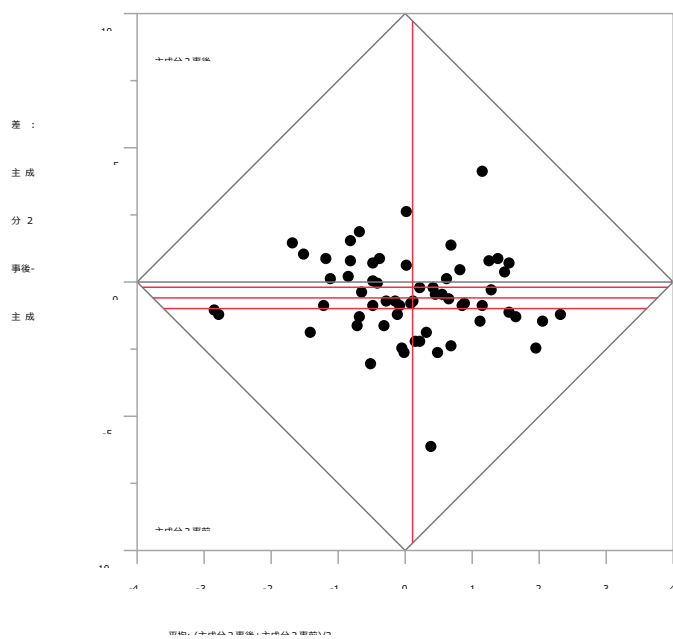
	主成分 1	主成分 2	主成分 3	主成分 4	主成分 5	主成分 6	主成分 7	主成分 8	主成分 9
SNS を使いこなし、日頃から自分の考えなどを発信している	0.20809	0.38173	0.04244	-0.15658	-0.34591	-0.11688	0.18601	0.16851	-0.12190
周囲から強く反対されても、納得がいかなければまずは反論する	0.23438	-0.01237	0.14582	-0.37028	-0.17335	-0.03529	-0.05973	-0.04981	0.36101
他人の良いところに目が行きがちで、本人に伝えたいタイプだ	0.26485	-0.01118	0.15784	-0.36739	-0.23626	-0.08778	-0.14014	0.15026	0.00559
失敗した際はあまり落ち込まない方だ	0.14350	0.18614	0.51563	-0.15016	0.37197	0.10635	0.13947	-0.27223	-0.18093
問題が起きたとき、淡々と自分には何ができるかを考える	0.28661	-0.05261	0.05443	-0.29908	-0.01003	0.03331	-0.05181	-0.19854	-0.15510

主成分1の事後・事前比較



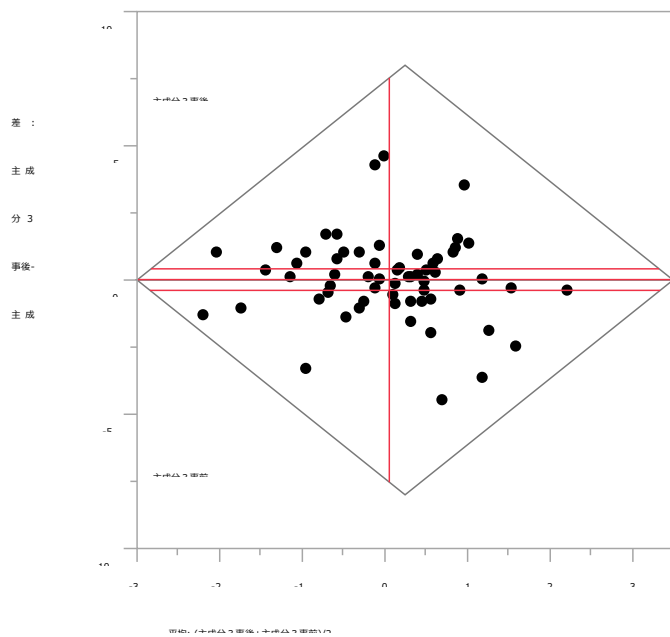
主成分1 事後	0.07124	t 値	1.137086
主成分1 事前	-0.2972	自由度	60
差の平均	0.36846	p 値(Prob> t)	0.2600
標準誤差	0.32404	p 値(Prob>t)	0.1300
上側 95%	1.01663	p 値(Prob<t)	0.8700
下側 95%	-0.2797		
N	61		
相関	0.49898		

主成分2の事後・事前比較



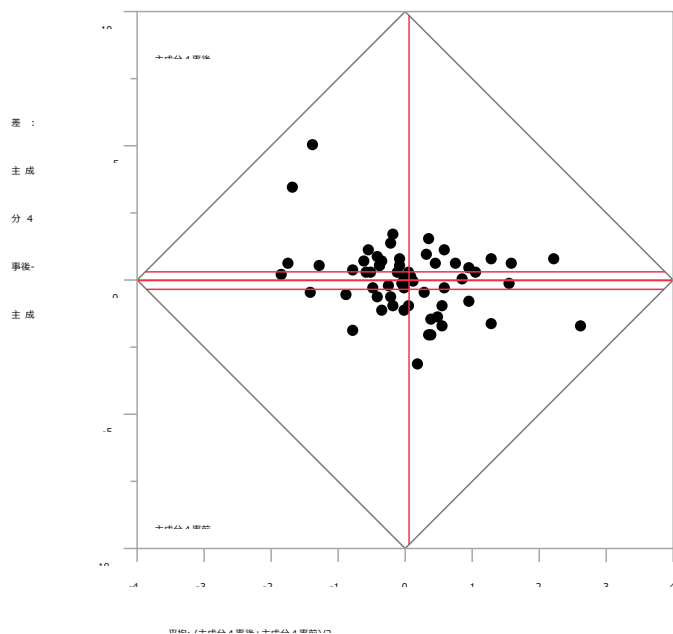
主成分2 事後	-0.1846	t 値	-2.97932
主成分2 事前	0.40725	自由度	60
差の平均	-0.5918	p 値(Prob> t)	0.0042*
標準誤差	0.19865	p 値(Prob>t)	0.9979
上側 95%	-0.1945	p 値(Prob<t)	0.0021*
下側 95%	-0.9892		
N	61		
相関	0.3167		

主成分3の事後・事前比較



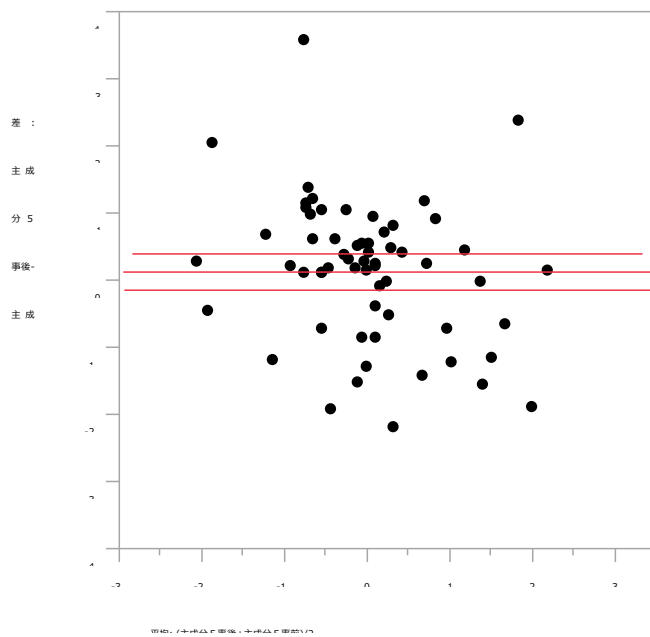
主成分3 事後	0.06654	t 値	0.077353
主成分3 事前	0.05105	自由度	60
差の平均	0.0155	p 値(Prob> t)	0.9386
標準誤差	0.20033	p 値(Prob>t)	0.4693
上側 95%	0.41621	p 値(Prob<t)	0.5307
下側 95%	-0.3852		
N	61		
相関	0.12375		

主成分4の事後・事前比較



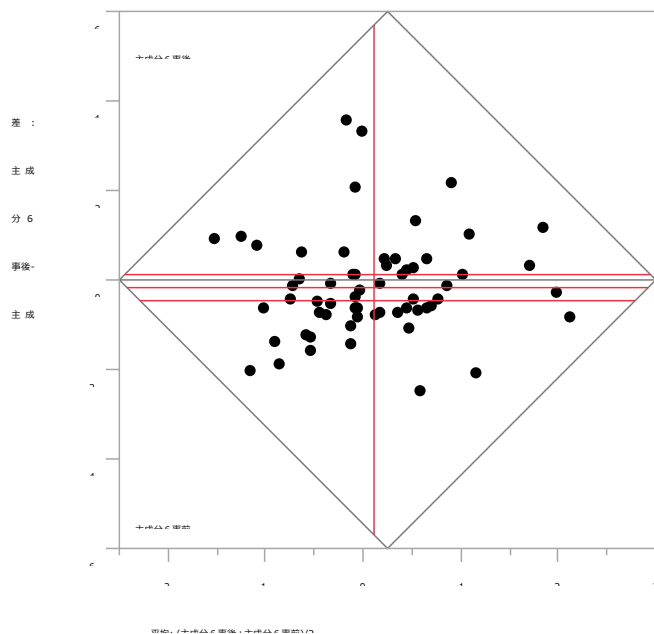
主成分4 事後	0.04728	t 値	-0.13104
主成分4 事前	0.0686	自由度	60
差の平均	-0.0213	p 値(Prob> t)	0.8962
標準誤差	0.16271	p 値(Prob>t)	0.5519
上側 95%	0.30415	p 値(Prob<t)	0.4481
下側 95%	-0.3468		
N	61		
相関	0.3256		

主成分5の事後・事前比較



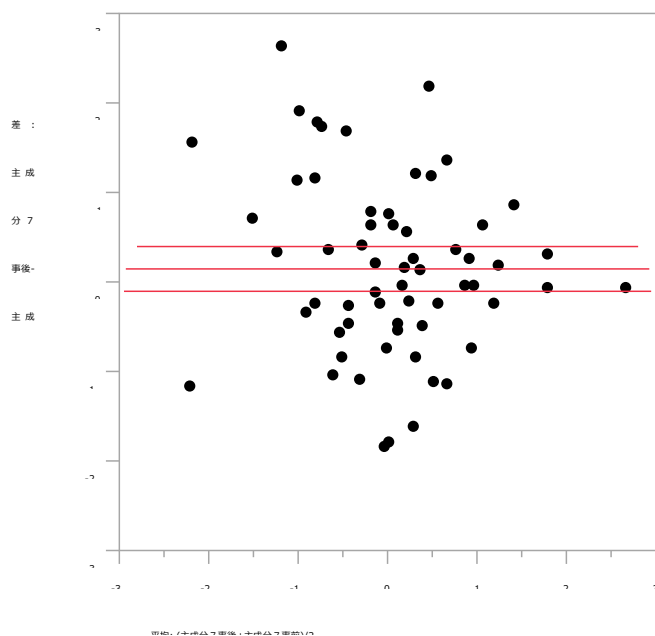
主成分5 事後	0.0911	t 値	0.888213
主成分5 事前	-0.029	自由度	60
差の平均	0.12005	p 値(Prob> t)	0.3780
標準誤差	0.13516	p 値(Prob>t)	0.1890
上側 95%	0.39042	p 値(Prob<t)	0.8110
下側 95%	-0.1503		
N	61		
相関	0.50248		

主成分 6 の事後・事前比較



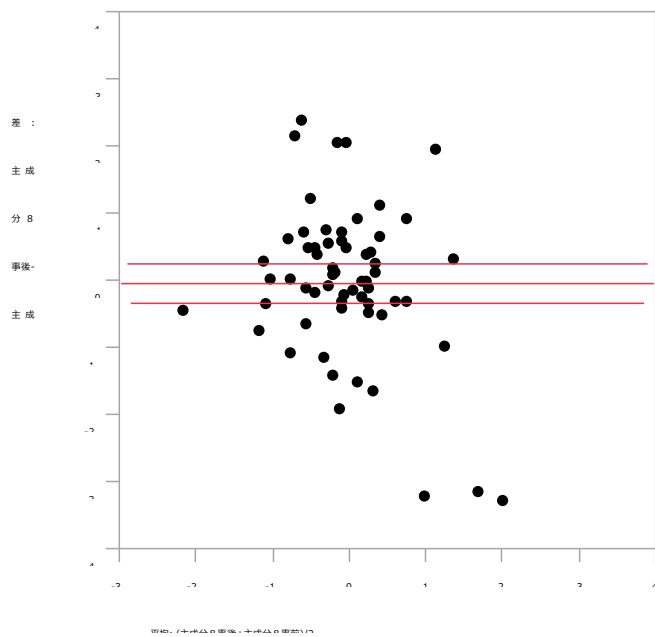
主成分 6 事後	0.0256	t 値	-1.17757
主成分 6 事前	0.19701	自由度	60
差の平均	-0.1714	p 値(Prob> t)	0.2436
標準誤差	0.14556	p 値(Prob>t)	0.8782
上側 95%	0.11976	p 値(Prob<t)	0.1218
下側 95%	-0.4626		
N	61		
相関	0.30936		

主成分7の事後・事前比較



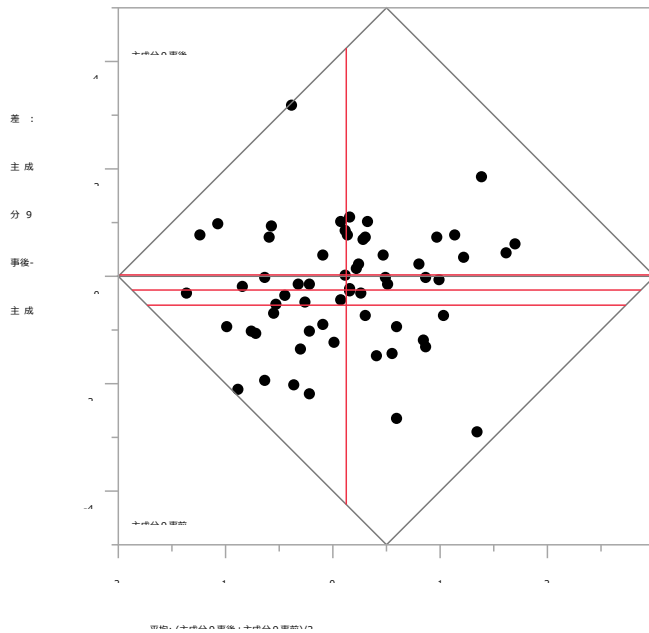
主成分7 事後	0.12559	t 値	1.164511
主成分7 事前	-0.02	自由度	60
差の平均	0.14559	p 値(Prob> t)	0.2488
標準誤差	0.12502	p 値(Prob>t)	0.1244
上側 95%	0.39566	p 値(Prob<t)	0.8756
下側 95%	-0.1045		
N	61		
相関	0.55086		

主成分 8 の事後・事前比較



主成分 8 事後	-0.0502	t 値	-0.35393
主成分 8 事前	0.00182	自由度	60
差の平均	-0.052	p 値(Prob> t)	0.7246
標準誤差	0.14685	p 値(Prob>t)	0.6377
上側 95%	0.24177	p 値(Prob<t)	0.3623
下側 95%	-0.3457		
N	61		
相関	0.21883		

主成分9の事後・事前比較



主成分9 事後	-0.003	t 値	-1.81713
主成分9 事前	0.25316	自由度	60
差の平均	-0.2561	p 値(Prob> t)	0.0742
標準誤差	0.14096	p 値(Prob>t)	0.9629
上側 95%	0.02582	p 値(Prob<t)	0.0371*
下側 95%	-0.5381		
N	61		
相関	0.25664		

1年目の取り組みでは、生徒の変化が顕著であった。外部の方とのコミュニケーションによって、生徒の視点の変化や行動の変容が起きやすいということがわかった。

受動的であった生徒の行動も、後記の実践例にもあるように能動的、主体的な行動に変わる姿が顕著であった。

学年を追うにつれてこの数値はさらに上昇していくと予想できるが、大人のかかわり方次第で上昇率には変化が起きるのではないかと想定できる。

今後の活動を視野に入れた際、この調査結果は指導を行うための大変重要な参考資料となるものであるとえられる。

新製品の開発(2年目～)

- ・2年目以降の目標として設定している。地元産業と関わることで、商品化するものを厳選し、プラットフォーム上での販売を目指す。
開発する商品については、物的なものに限らずサービスや仕組みなども視野に入れて考えている。

幅広い周知(初年度～)

- ・学校と地域社会との連動によって生まれた価値や課題を広く周知することで同じような境遇の地域へ還元していく。

TikTok(SNS)の作成

担当…VCPJ 名護

変化

生徒たちの中で TikTok は個人が楽しむ娯楽のイメージを持っていたが、学校という大きな組織で TikTok を作成することで、SNS の影響力の強さに恐怖を感じたり、一方では自分たちで情報を発信し学校の活気付けれる便利なツールとして感銘を受けていた。

成果

生徒たちが自身で撮った動画を編集していくにつれ、高度な編集技術を身に付けることができた。生徒が主体的に明誠高校のことを世界中に発信できた。

課題

発信力がすごいが故に、マスクを外して撮影することに抵抗がある生徒が多い。実際バスケット選手の方への応援メッセージを TikTok に投稿した際に、自分の顔が写っていたことで消去を求められた。撮影 NG の生徒が多い。TikTok 同好会でも自分の顔を出すことに抵抗する生徒がいる。



<https://vt.tiktok.com/ZS8boEV0R/>

YouTube(SNS)での動画配信

YouTube(SNS)での動画配信

YouTube については、宣伝等を工夫して、もう少し認知させる必要があるように思う。

ただし、SNS に対して自分が出ることへの不安感をもつ生徒もおり、個人情報の保護の観点からも載せる場合には、繊細に考える必要があるように思う。

変化

YouTube で動画が配信される前は、VC 授業の際に居眠りや雑談をする生徒が大半だった。しかし、配信するという方針が変わったことで「他者」から見られるという意識が芽生え、授業の際には画面に集中して参加するように変化した。

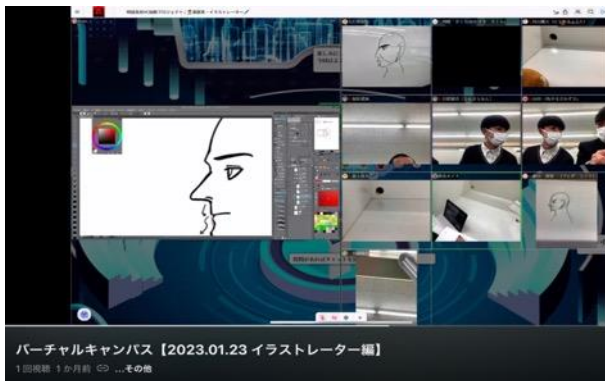
成果

TikTok では VC に関する準備や授業の様子などを短い動画で発信してきたが YouTube では VC 授業の内容を大容量でアップすることができ、授業内容をより掘り下げた動画を視聴できるようになった。

また、どこでも誰でも気軽に視聴できる SNS を通して発信することで、生徒たちが改めて自身の授業態度を見直して授業に参加することができた。

課題

YouTube という SNS 上に動画がアップされることになると、VC 授業の際にカメラをオフにした参加、マスクを外さずに表情が見えない状態での参加など、オンライン授業をする上で欠かせない「表情」が講師様に届かない状態で授業が行われることがあった。



- 【性教育】 <https://youtu.be/ie9ob8c5N1c>
- 【ヘアアレンジ】 <https://youtu.be/8yMclRzrxCk>
- 【イラストレーター】 <https://youtu.be/XW80mIoLMgQ>
- 【イラストレーター-2】 <https://youtu.be/TZMWMHULG8E>
- 【プロバスケット選手】 <https://youtu.be/uoCTTy1FDws>
- 【ヘアアレンジ】 <https://youtu.be/8yMclRzrxCk>
- 【ダンス】 <https://youtu.be/3HYs81PQlxk>

幅広い活用(3年目～)

- ・離島や中山間地域において必要とする小学生、中学生、高校生に展開する。

プラットフォームの開発(初年度～)

- ・oVice(2Dメタバース)を活用することで、より広い地域とつながることができる。

プラットフォームを活用した実践(外部講師によるオンライン講義)

11月21日

【テーマ】脳科学～脳科学で人生を豊かにする方法

講師 きむ(ニックネーム)

【経歴】

- ・脳科学 きむ

https://www.instagram.com/_kim_cn/

米国統合心理学協会認定 NLP マスター
マインドヘルスコーチ®

幼少期から人と違うことをコンプレックスとして抱え、社会人になってからそのコンプレックスが加速。
普通とは何か？をずっと考え続けてきた過去を持つ。

現在は、脳科学を使ったセッションをしており、経営者から専業主婦幅広い方のサポートをしています。

「脳が変われば世界が変わる」

私たちは上手く脳を使いこなせていません。

なぜなら脳の使い方を誰も知らなかったから。

脳の使い方が分かれば、みなさんが今抱えている問題の原因が分かり、驚くほどスピーディーに解決していきます。

さらに思い描いたようにドロマチックに、人生を素敵なものに導いてくれます。

ぜひ新しい扉を一緒に開けましょう。

概要

脳科学の視点から、これからの人生を豊かに生きる方法を学ぶ。

人生は考え方ひとつで変わる可能性を秘めている。

成果

自分の考えと共感できたという生徒や今までと考え方が変わったという生徒が複数名いた。

楽しい人生にするかつまらない人生にするかは自分次第という内容を聞き、生活から見直したいという感想をもった生徒がかなりの数存在した。

課題

機器的な問題ではあるが、生徒の反応が分かりにくいという講師様からの感想をいただいた。

11月21日

【テーマ】性教育～JKとJDが知っておくべき「自分のトリセツ」～

講師 久保 佳苗

概要

本講義の講師様は、作業療法士の方であり、本講義では、性教育の基礎知識を用いて自分を守る「生きるためのスキル」を伝えていただいた。

生徒の感想（一部紹介）

- 他人事ではないので自分のことは自分で守ろうと思いました。自分に自信を持つことはとても大切だと感じました。
- 意外と知らないことがたくさんあって面白かったです。自分ことが好きになりました。
- とても良い話が聞けて良かったです。自分のためになることばかりだったので性教育についてもっと深く知りたいと思いました。

成果

学校の性教育はパートナーへの思いやりや人権について触れられると思うが、本講義はその大前提としてまずは自分を見つめ、大切に思いやるといった講義展開であった。中等教育では性教育を保健の授業で完結してしまうがゆえに、知識と人権に授業内容が向けられがちであるが、本講義を通して自分を思いやることで自分を理解し、他人への理解にもつながる講義をしていただいた。上述の生徒の感想にもあるように、今日の学校教育において通常の保健の授業ではなかなか触れられにくい講義内容もあり、もう一度この講義を受講したという感想が多くあった。

課題

本講義は男女問わず受講参加を呼び掛けたが、実際には女子生徒のみが受講した。担当教員が男性教員であり、生徒が講師様に質問しにくいように見受けられた。これについてはVCPJのメンバー全員が男性教員であり、女性教員をつけにくい実態がある。ただ、講師様が生徒に質問の場を多く設けており、主体的な学びを期待できたために少し残念である。

12月19日

講師

四方 浩文

【経歴】

四方浩文(ヨモ ヒロフミ) 1980年5月5日生まれ

選手経歴

1996年 市立船橋高校サッカー部→市川 SC ユース所属

2000年 Defensores Juveniles (アルゼンチン)

2001年 Bella Vista→Libertad→defensores Juveniles(アルゼンチン)所属

指導歴

2005年アルゼンチン 1部タジェレス・コルドバ コーチ研修 2010年明治学院大学サッカー部
コーチ

2012年 ボカ・ジャパン サッカースクール コーチ兼通訳 2013-16年 オブリガードサッカー
スクール スクールコーチ

2009年～

アルゼンチンサッカー留学支援

2019年～

スペインサッカー留学、トライアウト支援

メディア掲載

2012年 中日新聞

2013年 加部究のそれでも「美談」になる高校サッカー も「美談」になる高校サッカーの非常識

2019年 サッカーダイジェスト 1月19日号

2022年

JFA 登録仲介人

【特別講師さんからのお願い】

21日のプレ授業までに読んでほしい記事

・引きこもりからのアルゼンチンサッカー留学記

<https://storys.jp/story/17993>

【テーマ】「海外サッカー代理人」～アルゼンチンサッカーを通じて身につけた多様な生き方～

概要

本講義の講師様は、JFA登録仲介人、サッカースクールコーチなどサッカー
関係で活躍をしている。自身が引きこもりであった経験とサッカー留学のお話を踏
まえながらお話していただいた。

生徒の感想（一部紹介）

- 日本とは違ったサッカーで新しく学べるのがたくさんあり、自分の財産にもできるような経験ができそうだと、とても興味をそそられる授業でした。四方さんの話を聞いてあきらめずにやり通すことの大事さを学びました。
- 四方さんが引きこもりから救ったのもサッカーで、今現在もサッカーに関わる仕事をされていて、スポーツの素晴らしさとあきらめないことの大切さを知れました。また、サッカー選手をスカウトするうえで何をみているのか等、初めて知ることがたくさんあった。

成果

生徒たちの中ではサッカー選手がプレイをする場面を見ることが多いが、その選手たちがどのようにしてクラブを移籍していくのかを知れたようである。また、自分の目標に対してあきらめずに進んでいくことの難しさを知りつつも、前向きにあきらめずに継続することの大切さを知れたようである。

課題

90分間の授業を予定していたが、生徒の集中力が続かなかった。そのため、授業の中で「動き」のある遠隔授業の必要性を感じた。

12月19日

【テーマ】 起業～10代からの起業を考える

講師 山本了輔（やまもと りょうすけ）1977年生まれ 京都府出身

【経歴】

小学生のころ大阪市西成区の小学校に通う

中学からは市外の私立学校へ通い、高校2年生の冬に阪神大震災を経験

被災地にて家財道具搬出のボランティアを行う

その際に精神的に傷つく子どもたちを目の当たりにし心理学の学べる大学へ進学

1年生時にフリースクールの存在を知り、2年生時（19歳）にフリースクールを起

【現在】

NPO 法人 志塾フリースクール 参与（前代表）

学校法人益田永島学園 明誠高等学校 理事

一般社団法人 青少年教育育成支援協会 代表理事

一般社団法人 しまねいわみ観光振興機構 理事

株式会社 4UP 代表取締役

有限会社ひろせ 取締役

【講座の概要】

私自身が10代で起業し現在に至るまで、多くの会社の設立や運営をサポートしてきました。起業の関する知見を、スタンフォード大学の有名な授業や、実際の起業した若者の例などを交えて、わかりやすく伝えていきたいと考えています。

【実績】

大学での講演（島根県立大学、大分大学、弘前大学、大阪教育大学、追手門学院大学 等）
自治体での講演（益田市、大阪市、茨木市、河内長野市、狭山市、門真市、養父市 等）
創設した法人（NPO 法人 12 団体、株式会社法人 3 社、一般社団法人 7 社、一般財団法人 1 社、事業協同組合 1 団体）

概 要

講師様自身が 10 代で起業し現在に至るまで、多くの会社の設立や運営をサポートしてきた経験をもとに起業の関する知見を、スタンフォード大学の有名な授業や、実際の起業した若者の例などを交えて、わかりやすく伝えていただいた。

成果

後記の課題にも上げたが、起業そのものを自分のこととしてとらえることができた生徒が一部ながらも存在していた。

夢ではなく、実際にトライすることの重要性を認識できた生徒もいた。

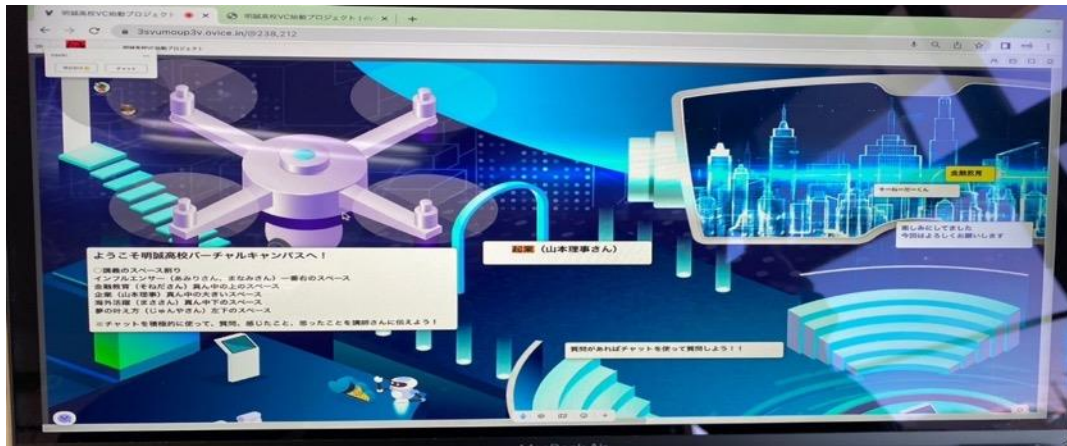
課題

今回の講義が自分の進路選択の幅を広げる一つのヒントになったと捉える生徒と、まだまだ遠い未来の話として受け入れられない生徒に分かれてしまった。

まだまだプログラム開始から日が浅いこともあり、自分に関係ないと感じてしまっている生徒の話聞く態度にも疑問が残る。

通信面での不具合が多い。





12月19日

【テーマ】金融教育～社会に出る前に知っておきたいお金の声

講師 曾根田夏樹（そねだなつき）1990年生まれ 宮崎県出身

【経歴】

- 小4からバスケットを始め
- 中学生でジュニアオールスター宮崎代表
- 私立延岡学園高等学校へ入学
- 埼玉インターハイ 優勝
- 国体 3位
- ウィンターカップ 3位
- 天皇杯 出場

高校卒業後、トヨタ自動車株式会社に入社
 25歳～海外にて出会った経営者をきっかけに独立
 ファイナンス業務をスタートする
 2018-2022年 Crosslink Ltd CEO(香港)
 2020-2022年 合同会社 Crosslink Japan 代表(愛知)

【現在】

2022年7月 Inclusion Financelink 株式会社 代表取締役(福岡)

【実績】

- 2018年 法人5社講演 年間4000名参加
- 2019年 愛知県某小学校・中学校 講演
- 2020年(6月迄) 上場企業 YouTube/終活・キッズマネー講演
- 海外学校支援・バスケットスクール支援

2021年 教員専用オンラインスクール FTC 創設
2022年 NPO 法人 Discovery School 様へ講演
2022年 A4L UNIVERSITY 旅するスポーツ大学 認定講師就任
2022年 一般社団法人博多美人会様へ講演

【メディア】

2021年 各界で活躍する挑戦者達 The Human Story 掲載
2021年 世界の『今』を届けるビジネス情報誌 Qualitas 電子版掲載
2022年 ふくおか経済雑誌 8月号 掲載
2022年 Business Story Magazine FUKRATS Vol2 掲載

【インクルージョンファイナンスリンク株式会社】

<https://inclusion-financelink.com/>

【Financial Teacher College】

<https://ftc.inclusion-financelink.com/>

概 要

高校生がもっと知っておきたいお金の話をいただいた。
進学、就職、起業、さらには今後の家庭、老後すべてに絡むお金の話を様々なシチュエーションで詳しく講義していただけた。

成果

進学するにも就職するにも金銭面の配慮が必要なことをより詳しく知ることができた。
自分が生活するうえで、お金を生み出す、増やすにはどのような方法があるかという、普段高校生が考えないようなことも知ることができた。

課題

双方向的な講義ではなく、一方向的なものになってしまったため、生徒の反応が講師様にいまいちわかりづらい状況になってしまった。
まだまだ遠い未来の話のように受け取った生徒も少なからず存在した。
通信面での不具合が多い。

【テーマ】 夢の叶え方～叶えたい夢がなんでも叶う 引き寄せの法則～

誰もが本来持っている【潜在意識】を活用してどんな現実をも引き寄せる方法をお伝えします！

講 師 小林 隼也

【経歴】

高校卒業後 東京消防庁に入庁

12年間レスキュー隊員として人命救助に従事する

その後、母の事故をきっかけに30歳で起業

不動産事業、美容事業、ブロックチェーン事業など様々な業種で国内海外で複数社経営

現在はスタートアップ企業やブロックチェーン企業への出資を行う投資家としても活動

個人では一昨年に FIRE を達成

人生のほとんどの時間を自分の好きなことや、家族と楽しく過ごすことをモットーに自由な Lifestyle を送っている。

※FIRE : Financial Independence (経済的自立) , Retire Early (早期退職) の頭文字

概 要

本講義の講師様は、FIRE を達成しているが、なぜ FIRE を目指すことになったのか、FIRE を達成するためにどのようなことをしてきたのか、など、そこに至るまでの過程を、体験談を交えながらお話していただいた。

生徒の感想 (一部紹介)

- どう考え、どう生きていくかが大切だと分かった。
- 試してみようと思った。
- 自分が言った言葉が現実になるので気をつけたいと思いました。
- 講師様の紹介に時間を使いすぎて、深掘りしたい話が聞けなかった。

成果

上述の生徒の感想にもあるように、夢を叶えることに限った話ではなく、自分の人生を豊かにするために大切なヒントを得ることができたようである。

課題

今回の講義は、講師様が一方的に講義をする形になり、生徒は聞くことに偏った受け身の展開となった。そのため、退屈する様子の生徒も見られた。講師様を目の前にして講義を受けるのと違い、オンラインということもあり、集中力に欠ける様子が顕著に現れる結果となった。講師様と生徒がオンライン上で直接的に双方向にやり取りできるのがメタバースの利点でもあるので、利点が生かせるような講義展開になるような講義構成が今後の課題であると感じた。

1月23日

【テーマ】～お手軽な描き方～

講師 Ayato.

【経歴・実績・プロフィール】

2018年1月～

株式会社 B-SIDELABEL デザイナー契約

2019年8月、約2週間

個人製作%22Libertè%22で %22ギャラリー香%22にて2週間の企画個展

2020年2月

フリースタイルクリエイション Libertè ステッカー発売開始

2020年5月～

大阪声優アニメ&eスポーツ専門学校 講師

2020年8月、約2週間

個人製作%22Libertè%22で %22ギャラリー香%22にて2週間の企画個展

ステッカーブランド B-SIDE LABEL のデザイナー契約を過去最年少で獲得。

その翌年、自身の個人ブランド Libertè を運営。

その年の内にはフリースタイルクリエイションにてそのステッカー作品も展開。

またその翌年には大阪声優アニメ&eスポーツ専門学校の講師も担当する。

現在は企業 V ライバーの立ち絵も担当するなど勢力的に活動をしている。

【SNS】フォローしてね！

・ Twitter

https://twitter.com/Ayato_qp

・ Instagram :

https://www.instagram.com/ayato_qp/

概要

本講義の講師様は、デザイナーとして活躍され、専門学校でイラストの講師もされている。本講義では、人の横顔の描き方を教えていただいた。

生徒の感想（一部紹介）

- 書いた横顔は難しくて、うまく書けなかったけど、講師さんはスラスラ書いていて、改めてすごいなと思いました。教え方も分かりやすくてよかったです。

- とっても楽しくできましたが絵が下手すぎて思うようにいかなかったです。
講師の先生はとっても丁寧で物凄く絵が上手かったです。
- わかりやすい授業を受けることができよかったです。本校の部活でイラストを教えてください。講師の先生が筋肉の話をよくします。その話と似たところがあって、改めて復習兼ねて勉強できてよかったです！
- 絵は本気で取り組んでみたいって思うことがなくて今まで誰にも習わずに描いていたけど、今日お手軽に描ける横顔を教えてもらって全然違う様に描けたので嬉しかったし他の描き方をもっと知りたいとも思いました。鼻や頭部の丸さや大きさなどで苦戦したけど楽しかったしこの短時間で描き方を学べたのでよかったです。

成果

今回の講義では、双方向の講義展開を行うことができ、また、絵を描くという活動の場を設定することができた。その結果、生徒の反応が良く、満足度の高い内容となった。絵が苦手な生徒も多数いたが、教えていただいた通りに描くことで、自分で思っている上手に描けたことに喜びを感じていた。

メタバースの利点を生かし、タブレットを使って生徒が描いた絵を画面上に映し出し、講師様に見ていただくことができた。大阪におられる講師様からリアルタイムで生徒の作品を見ていただきコメントをいただけるという、実際の講義と同じような授業展開をすることができた。

課題

今回も通信関係の不具合が起きてしまい、生徒の集中力が切れる場面があったので、通信環境の整備が喫緊の課題として挙げられる。



【イラストレーター】 <https://youtu.be/XW80mIoLMgQ>

2月6日

【テーマ】～私がプロバスケット選手になれた理由～

講師 永吉 佑也

【プロバスケット日本代表選手】

永吉佑也（ナガヨシ ユウヤ）1991年生まれ 198 cm パワーフォワード/センター

【選手紹介動画】

<https://youtu.be/a9CJ4Z82smA>

【経歴・プロフィール】

2005年・2006年 ジュニアオールスター鹿児島代表

2007年 私立延岡学園高等学校 全国大会出場

2009年 インターハイ 準優勝

2010年 青山学院大学進学

2012年 全日本大学選手権 優勝

【プロ経歴】

2014年～2016年 東芝ブレイブサンダース神奈川 加入

2016年～2017年 川崎ブレイブサンダース発足（プロ化）プロ契約

2017年～2022年 京都ハンナリーズへ移籍

2022年～ ライジングゼファー福岡

【日本代表歴】

2008年 U-18日本代表 選出 アジア U-18選手権 出場

2011年 ユニバーシアード日本代表 選出

2012年 ウィリアム・ジョーンズカップ日本代表 選出

2013年 東アジア選手権 3位

2017年 東アジア選手権 3位

2018年 第18回アジア競技大会 日本代表 選出

2022年 男子W杯 アジア予選日本代表に選出

【SNS】

・永吉佑也 選手

Instagram : https://www.instagram.com/naga_43/

・所属チーム：ライジングゼファー福岡

Instagram : https://www.instagram.com/rz_fukuoka/reels

YouTube : <https://www.youtube.com/@user-wx7yv8to6e/videos>

【みんなでバスケット日本代表を応援しよう！】

日本代表 ワールドカップ予選

・2月23日 vs イラン

・2月26日 vs バーレーン

<https://fibaworldcup2023-asianqualifires.japanbasketball.jp/>

8月沖縄にて ワールドカップ開催！

<https://www.fiba.basketball/basketballworldcup/2023>

概要

本講義の講師様は、プロバスケット選手(日本代表)として活躍され、2020 東京オリンピックにも出場されている。本講義では、部活動に加入している生徒のみならず、夢をかなえるためにどのような努力を経たか、また、今後についてのアドバイスをいただいた。

成果

バスケットという競技性だけでなく、アスリートとしての心構えを聞くことで、特に部活動に加入している生徒にとってはモチベーションを上げることができた。成功するためには多くの葛藤や悩みを克服するという点では部活動に加入していない生徒にとっても今後の学校生活に活かせるという意見が多くみられた。永吉選手の人柄も相まって、質問する生徒が大変意欲的であり、普段の学校では見られない姿が見られた。

課題

講義そのものに目立った課題は見受けられず、成果の多い講義であった。インフラの問題として、通信が不安定であったため永吉選手とのコミュニケーションの時間が削られてしまった。



【プロバスケット選手】 <https://youtu.be/uoCTTy1FDws>

3月6日

【テーマ】～カートゥーンポップ！ミニキャラを描いてみよう！～

講師 Ayato.

概要

(通信の不具合は省きます。)

本講義の講師様は、1月23日のイラストレーターと同一の講師様である。本講義ではカートゥーンポップの描き方を教えていただいた。

生徒の感想（一部紹介）

- 私は前回の横顔でも参加しましたが、今回の説明もとても分かりやすく、ミニキャラをあまり描いてない私でもうまく描けました。目や鼻、口などのパーツでもたくさん種類があって、もっといろいろな組み合わせで描いてみたいと思いました。私は最近あまり人間の顔など描いてないので、たくさん絵を描いて楽しむことも忘れずに、もっとうまくなりたいと思いました。今回の授業もたくさん知らないことを知れて勉強になりました。
- 今回はありがとうございました。自分は絵が苦手で、書き方もわからなかったので悩んでいました。でも、今回のAyato.さんのおかげでかなり書き方がわかりました。
- 私は、今回初めてイラストレーターの方の授業を受けて、最初は自分は絵が上手い方ではないから自信がなくて不安だったけれど、Ayato.さんの分かりやすい説明と絵でとても楽しく2時間授業を受けることができたので、本当に良かったです。絵を描くことが少し好きになったので、これから参考にしていきたいなと思いました。
- 今までイラストに全く興味がなくて、それは、イラストを描くのが苦手だからです。ですが、今日で少しイラストを描くのが苦手じゃなくなったので少し興味を持つことができたので良かったです。

成果

前回と同様、双方向、かつ、活動的な授業展開ができた。生徒の感想にもあるように、この形式での講義展開は成果が大きいと改めて感じる事ができた。内容については、前回と同じように「顔」を題材としているが、前は横向き、今回はアニメ調の正面向き、と違うテイストとなった。しかし、基礎を押さえることで、ほとんどの生徒がそれなりのレベルの絵を描くことができた。前回に続き今回の講師様が2回目となる生徒も多くいたが、満足度は高かったようである。このことから、同一の講師様で複数回講義展開していくことに有効性を感じる事ができた。また、今回は受講する生徒が多く、三会場に分かれて実施をした。バーチャルキャンパス上での授業展開になるので、離れた会場においても同じ授業展開ができたことにバーチャルキャンパスのメリットが強く出た講義となった。

課題

ただ、残念ながら通信に関しては今回も不具合が生じ、音声のやり取りができず、一時、講師様が筆談による講義をする場面があった。しかしながら、今回は専門業者に講義中の通信状態を管理していただけたこともあり、不具合の原因も少しずつ分かってきた。次年度は通信関係の問題を解消し、講義の質を高めていくことを目標としたい。



【イラストレーター2】 <https://youtu.be/TZMWMHULG8E>

【テーマ】 ヘアアレンジ～ヘアアレンジを通して自分を知る～

講師 山本真菜美

【経歴】

山本真菜美（ヤマモトマナミ）@ヘアアレンジまなみん

大阪府在住のヘアアレンジを発信するクリエイター

専門学校卒業後、美容師として数年前まで活動。

そこで多くのお客様が喜んだり可愛くなる姿を間近で見て、一人でも多くの人にヘアアレンジの楽しさを知ってもらいたいという思いが芽生え、TikTok を開設しました。

この授業を通して自己表現することの楽しさや、皆さん自身が本当にやりたいことなどを見つけられるキッカケになれば嬉しいです！

概要

本講義の講師様は、ヘアアレンジを発信するクリエイターであり、本講義では、ヘアアレンジを通して自己表現することの楽しさを教えていただいた。

生徒の感想（一部紹介）

- 初めて授業を受け共感したり、なるほどと思える場面がたくさんあってとても良い時間になりました。ヘアアレンジの方法だけでなく、まなみさん自身のことや考え方を知ることができ、それを生かしてこのような仕事につけるんだと思いました。ヘアアレンジに関しても将来に関しても学べる時間となりました。
- 今までの髪の悩みについてわかりやすい解決方法を教えていただきました。今からでもすぐにできそうなやり方を教えてもらい、やってみたいなと思いました。実際にやってみてもとても楽しかったです。声の大きさなどもとても聞き取りやすかったし、自分たちからもいろいろ発言できたので良かったです。
- 今回の授業で、ヘアアレンジの仕方や髪の手入れの仕方などいろいろ教えていただきました。その中でも髪の乾かし方や髪をきれいに維持する方法などが特に知りたかったので質問を通して知ることができてよかったです。

成果

授業形式として一方向だけではなく、生徒も動きのある双方向であったため、生徒の興味関心が事前授業時よりさらに湧く授業展開となった。講義内容としてヘアアレンジの知識・方法等の講義では講師様が手本を示し、生徒はそれを手本にしてヘアアレンジを行った。双方向で且つ生徒が常に質問できる環境であったため、メタバースながら講師様と生徒の距離が近く、実際の講義とほぼ同様の講義風景であった。また、講師様自身が自己の過去と現在に触れ、ヘアアレンジを通じたキャリアデザインの設計についても講義をいただき、ICT教育・キャリア教育といった多面的でとても有意義な講義となった。

課題

今回の授業は女子生徒のみが受講対象だったため、男子生徒への配慮等にかけてしまった。実際に男子生徒が教員にヘアアレンジの講義を受講したと申し出があった。



【ヘアアレンジ】 <https://youtu.be/8yMclRznxCk>

3月6日

【テーマ】「インフルエンサー・ダンス」～SNSで自分の特技を力にする／ダンス・TikTok体験
講師 AMIRI

【経歴】

2009年 a-nation アクトダンサー
KANSAI Collection オープニング出演（春秋計4回）
SMBC 日興証券 CM 出演
NHK うたコン MAX, 島谷ひとみ バックダンサー
映画『high&low』ダンサー出演
三代目 jsoulbrothers 『X-RAY』PV 出演
三代目 jsoul brothers live tour UNKNOWN METOLOPOLIZ 出演
紅白歌合戦 三代目 jsoul brothers/HAPPY バックダンサー
2018年 E-girls ライブツアーE.G.11 サポートメンバー
GENERATIONS 『experience greatness』PV 出演
プロ野球チア “読売ジャイアンツ VENUS%22 2020
2021年 個人 SNS 開設
2022年 Danae School Purple 開校

【Amiriさんの過去のバズり動画】

- ①POP! <https://vt.tiktok.com/ZS8mCWMYq/>
- ②Ditto <https://vt.tiktok.com/ZS8mX2rKu/>
- ③twice メドレー <https://youtube.com/shorts/NrHkqqQcCk8?feature=share>

概要

本講義の講師様は TikTok、YouTube などの SNS で活躍されている。2年前から SNS を始め、1年前からダンススクール『purple』を開校。本講義では SNS を使った経営の話やスクール運営の話、ダンスレッスンを教えていただいた。

生徒の感想（一部紹介）

○今日はあみりさんの授業を聞いて驚いたことが二つあります。一つ目は案件の金額に驚きました。フォロワー数×1円だということにもびっくりしました。フォロワー数はとても大切なんだと思いました。目に見えるものだし、インフルエンサーとして活動するにはとても大切な数字になることに驚きました。

二つ目は SNS も立派な経歴ということが驚きました。私たちは遊びでやっていたので、自分の経歴にしようと思えば簡単に誰でも無料でできるので本当にすごいと思いました。正しく使って自

分にプラスになるようにしたいと思いました。

- とても楽しかったし、最後にダンスを教えてもらってダンスの難しさを知ったし、あみりさんが踊っている姿がとても綺麗でかっこよかったです。将来役立つことなどいろんな話がきけて良かったです。これからも応援しています。
- 私はリズム感がないから、みんなについていけるか不安だったけど、あみりさんが一つ一つの動きを丁寧に教えてくださったので、最終的にはみんなで楽しくダンスができました。ダンスレッスンの講師をしてらっしゃるのもあって、めちゃくちゃダンスもうまいしリズム感もあってすごいと思いました。あみりさんと話すときも、話しやすく何に対しても優しく対応してくださったのですごく楽しかったです。
- あみりさんの話を聞いて、高校生から芸能事務所に入ってバックダンサーをしていてすごいなと思いました。今ではダンス教室もしていて、その姿を見て私も将来に向けて頑張りたいなと思いました。将来ダンスの道に行くかわからないけどダンスをもっと頑張りたいなと思いました。

成果

ダンスは好きだが、スクールに通うことに恐怖心を持っていた生徒が積極的に授業に参加する様子が見えた。また生徒たちが普段使っている SNS が使い方次第では人生を大きく変える履歴書であることを学び、今後の SNS に対する新しい向き合い方を得た。

課題

ダンスレッスンをするうえで重要な音響設備を学校にある最低限の機材で使用したため、十分な音を出せなかった。また、マスクを外しての参加を提示したが、長い期間マスク着用していたためか抵抗が強く、遠隔授業で重要な「表情」「反応」を講師様に伝えることができなかった。



【ダンス】 <https://youtu.be/3HYs81PQIxx>

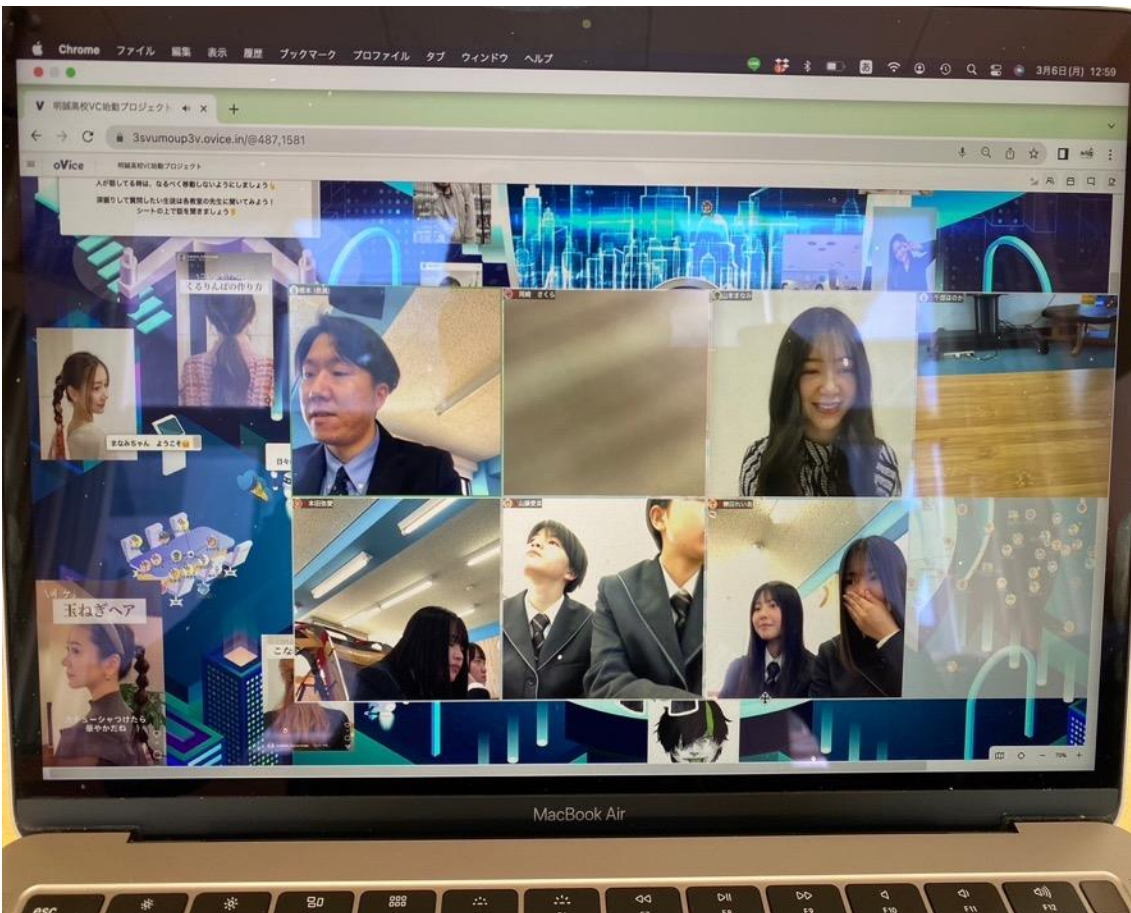
バーチャルキャンパス作成の生徒同士の打ち合わせの様子



実際に出来上がったバーチャルキャンパスの一例



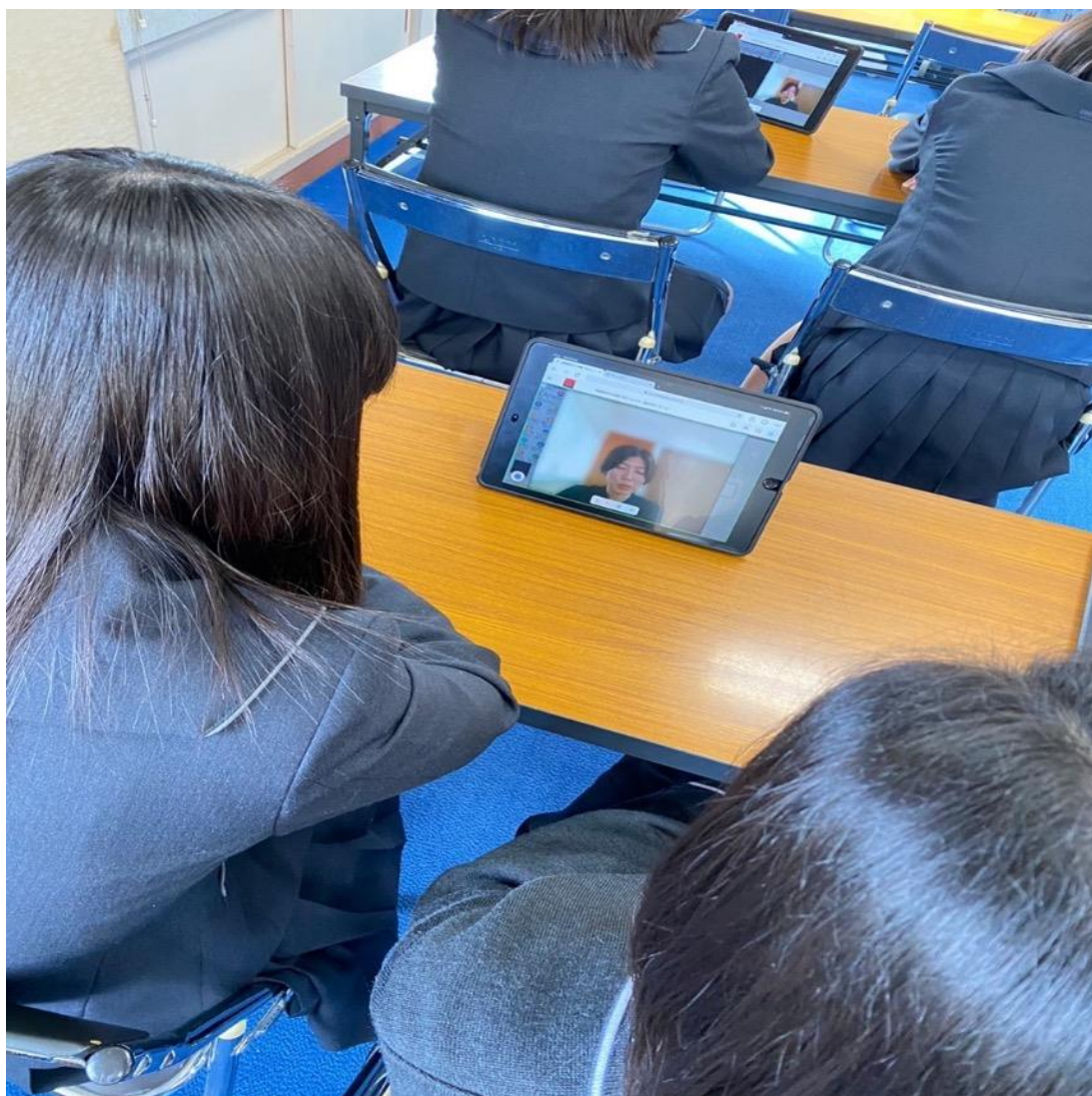
バーチャルキャンパス内の様子



TikTok制作のための生徒同士の打ち合わせ



oVice を利用した VC 授業の様子



オンライン講義全体を通して(目標に対する成果と課題)

担任の意見から考察すると、VC 授業を通し普段なかなか聞けない有識者の貴重な話を材料にして、自分たちに足りないものが何かを再確認し、**個人やクラス**で目標を立てることができた。少ない期間ではあったが、その目標に対して自身を見つめ**直すこと**や**クラス全体**で意識して学校生活を過ごせた。

実践事例全体についての目標に対する成果

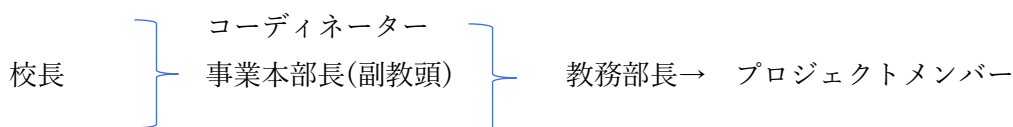
- ・ 質問事項を自ら考える
 - ・ 専門講師の経験を追体験として捉える
 - ・ 自らの悩みと重ね合わせる
 - ・ 質問に対する専門講師の答えにヒントを得て、自らの答えを考える
 - ・ 他者理解が進む中で、多種多様な考え方がわかるようになることで自尊感情の向上につながった
 - ・ 来年度に受けて多分野の専門講師の話を次年度取り組む新製品の開発のための参考にできた → 新製品の開発
 - ・ oVice の設置、運営、活用により、全国各地で活躍される専門講師の講義を受けることができた → プラットフォームの開発
 - ・ 講義を NHK や TikTok、YouTube などのメディア媒体や SNS で配信することでより多くの方の目にとまっていく可能性が出た → 広く周知する
 - ・ 2022年度は17名の専門講師を招聘できた → 広く利用してもらう
2023年度以降は全国の専門講師に加え地域の企業や団体、個人等、関わる人たちを拡げる
- 生徒の自尊感情の向上
能動的な学習姿勢の構築

実践事例全体についての目標に対する課題

- ・ 質問事項の内容に深みがない
 - ・ 自分に興味がない講義に対しての取り組みの甘さ
 - ・ 対面でのやり取りにおいて自分の考えを堂々と述べることに苦手意識を抱いている
 - ・ どの分野の専門講師が必要かの選定 → 新製品の開発
 - ・ oVice での通信の不具合 → プラットフォームの開発
 - ・ TikTok、YouTube のフォロワー数、チャンネル登録数、プレスリリースの頻度 → 広く周知する
 - ・ 校内のみならず、様々な企業、団体、個人にも利用してもらう → 広く利用してもらう
- 生徒の自尊感情の向上
能動的な学習姿勢の構築

年間を通じた学校現場における成果と課題

2022 年度事業運営組織



新しい事業として取り組む中で、学校現場で出た課題を GRIP としてそれぞれの役割ごとに分析した。

G(目的・目標) 生徒 自尊感情の向上、能動的な学習態度の構築 (1年目)
社会不安の減少、自己効力感の向上、意欲の上昇 (2年目)
新製品の販売、新サービスの提供、問題解決の仕組み構築 (3年目)

教員 (1)バーチャルキャンパスの収益化を図り、安定的な運営を目指す
(2)ますだバーチャルシティ(仮)の運営の収益化を目指す人材の誕生
(3)場所に関係なく日本中の誰もが参加可能なことにより、多種多様な用途で活用

成果 生徒の能動的に学ぶ姿勢には一定の改善がみられるようになった

課題 こちらが期待するほどの成果につながっていない

以上より、生徒が能動的に学ぶ姿勢を持てる仕組みの構築 (魅力的な授業構成の構築)

SNS 等での発信が想定より進んでいない (試験段階な取り組みのため)

環境も含めて改善点を克服する必要 (学校側の通信インフラ整備、活用媒体のアップデート)

R(役割分担)

C N 全国から専門講師の発掘、担任と専門講師のマッチング
生徒へのアンケート作成 (希望講師、講師選択、授業評価)
アンケート結果を専門機関 (弘前大学) へ依頼
授業構成(専門講師、教務部長、担任)
授業ごとの目的、目標の設定 (専門講師、教務部長、担任)
振り返り (事後授業)
生徒状況の把握
予算運営面の管理
学校内インフラの整備、学校内の通信環境の確認
V C 全体の把握、V C の作成 (生徒と連携)
各教室の通信環境の確認
生徒による SNS での情報発信と管理(担任、生徒と連携)

事業本部長 管理職として現場を把握
生徒状況の把握
学校内インフラの整備

教務部長 VC全体の把握
授業構成
学校内の通信環境の確認

VCPJ VCの作成（CNと連携）
授業単位、クラス単位の指導
各教室の通信環境の確認
生徒によるSNSでの情報発信の管理(CNと連携)

成果

CN 5回の授業で17名の専門講師を招集し17項目の特
別授業を実施
メタバースを活用し革新的な授業方法の創出と構築
生徒主体によるメタバース空間の創出と作成
SNSを活用した生徒主体の情報発信（学校生活、部活、研究事業）
※最大再生回数15,000回再生
研究事業に取り組むための円滑な教育環境の構築に着手

事業本部長 VCPJのメンバーの適正把握

教務部長 計画的な授業構成の模索
学校内通信環境のさらなる把握

VCPJ 生徒の新たな1面の発見
指導力向上のための機会

課題

CN 生徒や教員たちとのコミュニケーション不足からなる、関係性の構築
不足
活用媒体担当者から、より効果的な活用方法を引き出せなかった
CNが本来行う業務内容以外の業務が多く様々な箇所に支障が出た

事業本部長 現場把握の回数が少なく、課題となっている点の放置や、インフラ整
備にかかる相談がスムーズに進まない点もあった

教務部長 時間割運営において、VCの増加により、総合的探究学習、LHRの

時間を合わせての補填となった
環境整備において、通信状況が安定せず、授業内でのトラブルが多くあった(生徒の取り組みにも影響)

V C P J 授業内での約束事項が曖昧になった
通信の不安定さからくる生徒のモチベーション低下に対して有効な手立てを講じることができなかった

I(人間関係)

成果 教務部長、VCPJの打ち合わせは回数を重ねるごとに円滑に行えるようになった
各々が何を意図しているのかという理解の部分が少しずつではあるが深まった
メタバース作成やSNS発信を通して生徒とCNの関係性が深まった
メタバースやSNSの分野では生徒の意見を十分に受け入れ、作成、発信できた

課題 校長とCN、統括本部長、教務部長、VCPJのメンバーの間での意思疎通が希薄であり、
チームとしての動きに鈍さが生じていた
CN、教務部長、VCPJの打ち合わせが定期的に確保できず、突発的に行われることで長時間
化することも度々あり、疲弊感や不信感につながることもあった
特定の取り組みに参加していない生徒との関わりや関係性を築けなかった

対策 校長を含めた全メンバーでの会議、打ち合わせの機会を増やし、意見交換の場を設定する
(2022年度は2回しか行えなかった)
CN、教務部長、VCPJの打ち合わせを定期化し、計画性をもって進行していく
生徒主体、生徒参加型の授業構成を目指し、会議や打ち合わせに生徒が参加する(授業時間
内に実施)

P(段取り)

成果 それぞれの役割は明確であったと感じている
役割における内容の共有もできていた

課題 役割における責任という点で甘い部分も露呈したように感じる
VCPJメンバーの特性や能力を最も発揮できる役割をより模索する必要がある
役割における業務を明確化し効率的かつ効果的な取り組みを行えるチームとして成長する
(個に業務が集中した)
生徒の意見を取り入れながら研究事業を展開する
生徒主体、生徒参加型の授業構成を目指す

① 次年度計画について

当初は新2年生、新1年生を対象に実施予定であったが、授業内容、構成の問題から
新2年生のみを対象として実施予定

1. VC特別授業(専門講師をVC内に招待)
2. 地域資源の産業化(新製品、サービス、仕組みの開発地元産業への貢献)
3. 課外活動(企業、農家、公民館等との連携)

※選択制を取り入れ、それぞれの活動をVC内に取り込んでいく

最終的なゴールはそれぞれの活動ごとに成果物を派生させていくこととする